

平成２２年度 調査・研究事業

『和歌山県の道の駅の振興策に関する調査・研究』

報 告 書

平成２３年１月

社団法人 中小企業診断協会 和歌山県支部

はじめに

和歌山県支部では、平成21年度の調査・研究事業で、観光立県を目指す和歌山県の状況を考慮して、果たして観光の現状はどのようなになっているのか、将来的にあるべき姿はどのようなものかを調査・研究して地域観光産業の一助にしたいと考え、「和歌山県の観光の現状と今後の在り方」を報告書にまとめた。

その中で問題になったのは、公共交通機関の発展していない和歌山県を訪れる観光客は、自家用車、観光バス等の車の利用者が非常に多いことであった。しかし、車の休憩施設としてドライブイン等が考えられるが、観光客の多い県南部ではドライブイン等の整備が少なく、この対応策として公共施設である道の駅をより多く快適に利用してもらい、車での観光客に満足感を与え、リピーターとして、また口コミでの観光客増加を考えて、「和歌山県の道の駅の振興策について」調査・研究をすることにした。

道の駅（みちのえき）とは、国土交通省（制度開始時は建設省）により登録された、休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設である。モータリゼーションの進展で長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、高速道路のSA・PAのように、一般道路においても誰もが安心して自由に立ち寄り、24時間自由に利用できる休憩施設が求められるようになり、こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設として「道の駅」が誕生した。

事業の内容としては、和歌山県の道の駅の実態調査、アンケート調査、ヒアリング調査、問題点の抽出、今後のあるべき姿の提言をし、関係者及び一般人を対象とするセミナーの開催を行い、最終的には報告書にまとめることにした。

実施方法及び場所としては、文献調査、統計調査、道の駅及び市町村の道の駅担当者に対するアンケート調査、ヒアリング調査等による現状の把握と問題点の抽出及び今後の在り方を和歌山県下の道の駅すべて（21ヵ所）に対して行うことにした。

社団法人中小企業中小企業診断協会
和歌山県支部 支部長 奥村博志

目 次

はじめに

第1章 道の駅の概要	1
1 道の駅とは	1
2 道の駅の施設概要	1
3 道の駅のデザイン	2
4 道の駅ができるまで	3
第2章 道の駅の登録数	4
1 「道の駅」について	4
2 道の駅登録の経緯	4
3 道の駅の登録状況	4
4 全国の道の駅登録数(平成22年7月1日現在)	5
5 和歌山県の登録数	5
第3章 和歌山県の道の駅の現状	7
1 和歌山県の道の駅全図	7
2 個々の道の駅	8
NO. 1 しみず	8
NO. 2 San Pin 中津 (サン・ピン・なかつ)	10
NO. 3 ふるさとセンター大塔 (ふるさとセンターおおとう)	13
NO. 4 龍神 (りゅうじん)	16
NO. 5 イノブータンランド・すさみ	19
NO. 6 志原海岸 (しはらかいがん)	22
NO. 7 熊野古道中辺路 (くまのこどうなかへち)	25
NO. 8 しらまの里 (しらまのさと)	27
NO. 9 みなべうめ振興館 (みなべうめしんこうかん)	29
NO. 10 紀州備長炭記念公園 (きしゅうびんちょうたんきねんこうえん)	31
NO. 11 瀬峡街道 熊野川 (どろきょうかいどう くまのがわ)	34

NO. 12	紀の川万葉の里（きのかわまんようのさと）	3 6
NO. 13	奥熊野古道ほんぐう（おくくまのこどうほんぐう）	3 9
NO. 14	おくとろ	4 2
NO. 15	水の郷日高川 龍游（みずのさとひだかがわ りゅうゆう）	4 4
NO. 16	明恵ふるさと館（みょうえふるさとかん）	4 6
NO. 17	根来桜の里（ねごろさくらのさと）	4 8
NO. 18	あらぎの里（あらぎのさと）	5 0
NO. 19	一枚岩（いちまいいわ）	5 3
NO. 20	白崎海洋公園（しらさきかいようこうえん）	5 6
NO. 21	椿はなの湯（つばきはなのゆ）	5 9

第4章 和歌山県内「道の駅」の活性化に向けた提言

1	マネジメント	6 2
2	施設	6 4
3	品揃え	6 5
4	食事処	6 6
5	イベント	6 7
6	道路	6 7

資料

1	道の駅の責任者及び市町村の道の駅担当者宛てのアンケート用紙	6 9
2	アンケート及び資料からの集計	7 1

おわりに

7 2

第1章 道の駅の概要

1 道の駅とは

道の駅（みちのえき）とは、国土交通省（制度開始時は建設省）により登録された、休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設である。

従来高速道路には24時間自由に利用できる休憩所であるサービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）が整備されているが、一般道の公的な休憩所はほとんど存在せず、民間経営によるレストランや売店を併設したドライブインが休憩所の役目を持っていたものの、実質的にはレストランや売店の利用者に限られており、24時間自由に利用できるものではなかった。

しかしモータリゼーションの進展で長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、高速道路のSA・PAのように、一般道路においても誰もが安心して自由に立ち寄り、24時間自由に利用できる休憩施設が求められるようになった。

またこれらの施設では、道路利用者に対してその地域の文化・名所・特産物などを活用したサービスを提供することが望まれている。さらに鉄道駅のようにそれぞれの地域の核となり、道路を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待される。

また、人々の価値観の多様化により、個性的でおもしろい空間が望まれており、これら休憩施設では、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスを提供することができる。

さらに、これらの休憩施設が個性豊かなにぎわいのある空間となることにより、地域の核が形成され、活力ある地域づくりや道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待される。

こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設として「道の駅」が誕生した。

「道の駅」は「鉄道の駅」との対比をなす言葉であるが、もともと駅は街道沿いにある宿場を指す言葉であった。

2 道の駅の施設概要

(1) 施設位置

休憩施設としての利用のしやすさ、「道の駅」相互の機能分担の観点から、適切な位置に設置

(2) 提供サービス

①駐車場、トイレ、電話は24時間利用可能

②案内人がいて、親切に情報を提供

(3) 施設構成

①休憩目的の利用者が無料で利用できる十分な容量の駐車場

②清潔なトイレ

③道路や地域の情報を提供する施設

④様々なサービス施設

⑤主要な歩行経路はバリアフリー化

(4) 地域側施設の設置者

市町村または市町村に代わり得る公的な団体

(5) 配慮事項

①年少者、高齢者、障害者等、様々な人の使いやすさに配慮

②景観に十分配慮し、地域の優れた景観を損なうことのない施設計画

(6) その他

道の駅設置者は、既定の標章(シンボルマーク)を用いて施設案内を行うこと等

3 道の駅のデザイン

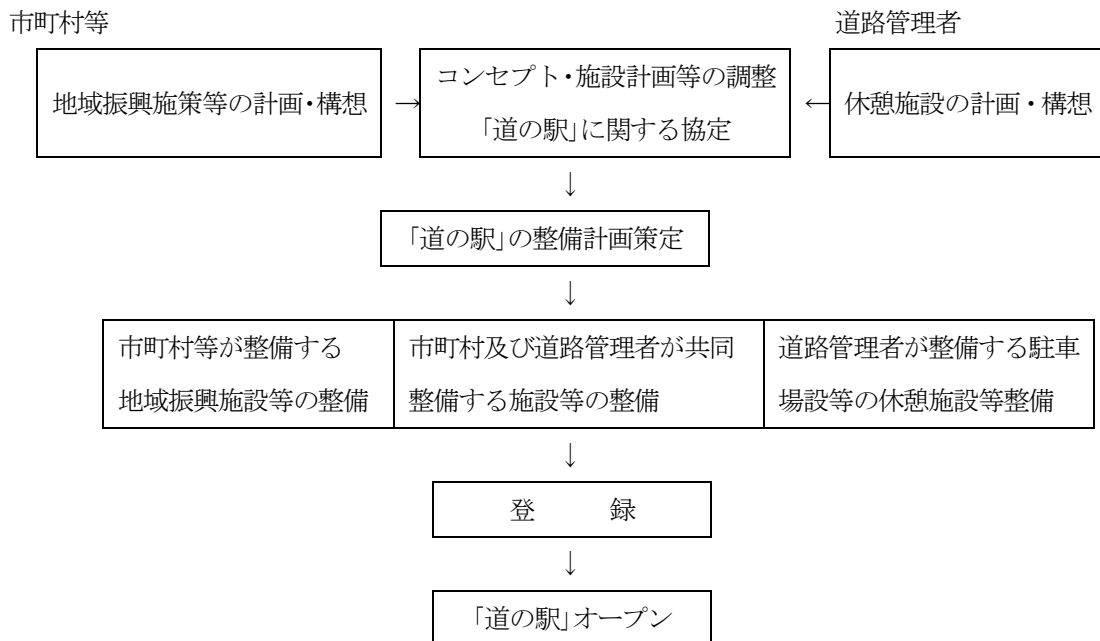
「道の駅」の案内板デザインについては、平成4年8月1日～10月3日までの64日間、道路の路側等に設置して「道の駅」の位置を示す案内板デザインを新聞、雑誌等を通じて全国に公募し、応募のあった作品の中から「道の駅」懇談会で審査した結果、特選となった作品をもとに、視認性等の観点から若干の修正を加えたものが以下に示すシンボルマークである。

「道の駅」は、訪れるドライバーのためにも、地域の方々にとっても、親しみやすい潤いある交流の場であって欲しいということから、全体を木と家をモチーフにして構成している。左側には、駐車場と樹木2本を配置し、緑あふれる安らぎの空間をイメージしている。右側には、建物と人を表し、単なる駐車スペースではなく、案内、地域情報の発信等の機能を持っていることを意味している。この人の形は、インフォメーションの「I」を形取っている。



国土交通省では、「道の駅」のシンボルマークや文字を、国土交通省道路局長名で商標登録（商標法：特許庁管轄）しており、また、シンボルマークの著作権も有している。

4 道の駅ができるまで



この他に、市町村等が、単独で整備した施設については、「道の駅」のコンセプトを満たす施設であれば、当該施設の存する都道府県の関連する道路管理者が推薦することを証する資料を添えて申請し、整備することが可能である。

第2章 道の駅の登録数

1 「道の駅」について

「道の駅」は地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設で、平成22年7月1日現在で936駅が登録されている。

2 道の駅登録の経緯

平成3年10月～4年4月	「道の駅」を実験(山口、岐阜、栃木県)
平成3年	交通安全事業の対象事業に道の駅の「駐車場」を追加 (交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法)
平成5年1月18日	「道の駅」の提言(「道の駅」懇談会会長：越正毅教授)
平成5年2月23日	「道の駅」の整備についての要綱策定

3 道の駅の登録状況

H5. 4. 22 登録	全国 103 箇所	H14. 8. 13 登録	全国 701 箇所(52 箇所追加)
H5. 8. 10 登録	全国 104 箇所(1 箇所追加)	H15. 8. 8 登録	全国 743 箇所(42 箇所追加)
H5. 11. 24 登録	全国 115 箇所(11 箇所追加)	H16. 3. 30 登録抹消	全国 742 箇所(1 箇所抹消)
H6. 3. 31 登録	全国 122 箇所(7 箇所追加)	H16. 8. 9 登録	全国 785 箇所(43 箇所追加)
H6. 4. 26 登録	全国 155 箇所(33 箇所追加)	H17. 8. 10 登録	全国 830 箇所(45 箇所追加)
H6. 8. 4 登録	全国 175 箇所(20 箇所追加)	H18. 8. 10 登録	全国 845 箇所(15 箇所追加)
H7. 1. 30 登録	全国 181 箇所(6 箇所追加)	H19. 3. 1 登録	全国 858 箇所(13 箇所追加)
H7. 4. 11 登録	全国 215 箇所(34 箇所追加)	H19. 8. 10 登録	全国 868 箇所(10 箇所追加)
H7. 8. 3 登録	全国 233 箇所(18 箇所追加)	H20. 4. 4 登録	全国 870 箇所(2 箇所追加)
H8. 4. 16 登録	(国 285 箇所(52 箇所追加)	H20. 4. 17 登録	全国 874 箇所(4 箇所追加)
H8. 8. 5 登録	全国 313 箇所(28 箇所追加)	H20. 5. 16 登録	全国 880 箇所(6 箇所追加)
H9. 4. 11 登録	全国 366 箇所(53 箇所追加)	H20. 8. 8 登録	全国 885 箇所(5 箇所追加)
H9. 10. 22 登録	全国 390 箇所(24 箇所追加)	H20. 12. 10 登録	全国 887 箇所(2 箇所追加)
H10. 4. 17 登録	全国 470 箇所(80 箇所追加)	H21. 3. 12 登録	全国 900 箇所(13 箇所追加)
H11. 8. 27 登録	全国 551 箇所(81 箇所追加)	H21. 6. 12 登録	全国 902 箇所(2 箇所追加)
H12. 8. 18 登録	全国 610 箇所(59 箇所追加)	H21. 7. 3 登録	全国 917 箇所(15 箇所追加)
H13. 8. 21 登録	全国 649 箇所(39 箇所追加)	H22. 3. 1 登録	全国 936 箇所(19 箇所追加)

4 全国の道の駅登録数(平成22年7月1日現在)

都道府県名	駅数	都道府県名	駅数	都道府県名	駅数	都道府県名	駅数
北海道	109	東京	1	滋賀	15	香川	18
青森	27	神奈川	2	京都	13	愛媛	23
岩手	30	山梨	17	大阪	7	高知	19
宮城	12	長野	39	兵庫	31	福岡	13
秋田	29	新潟	34	奈良	12	佐賀	8
山形	17	富山	14	和歌山	21	長崎	9
福島	21	石川	22	鳥取	11	熊本	21
茨城	9	岐阜	51	島根	25	大分	22
栃木	17	静岡	20	岡山	15	宮崎	14
群馬	19	愛知	13	広島	14	鹿児島	18
埼玉	18	三重	15	山口	19	沖縄	7
千葉	22	福井	8	徳島	14	合計	936

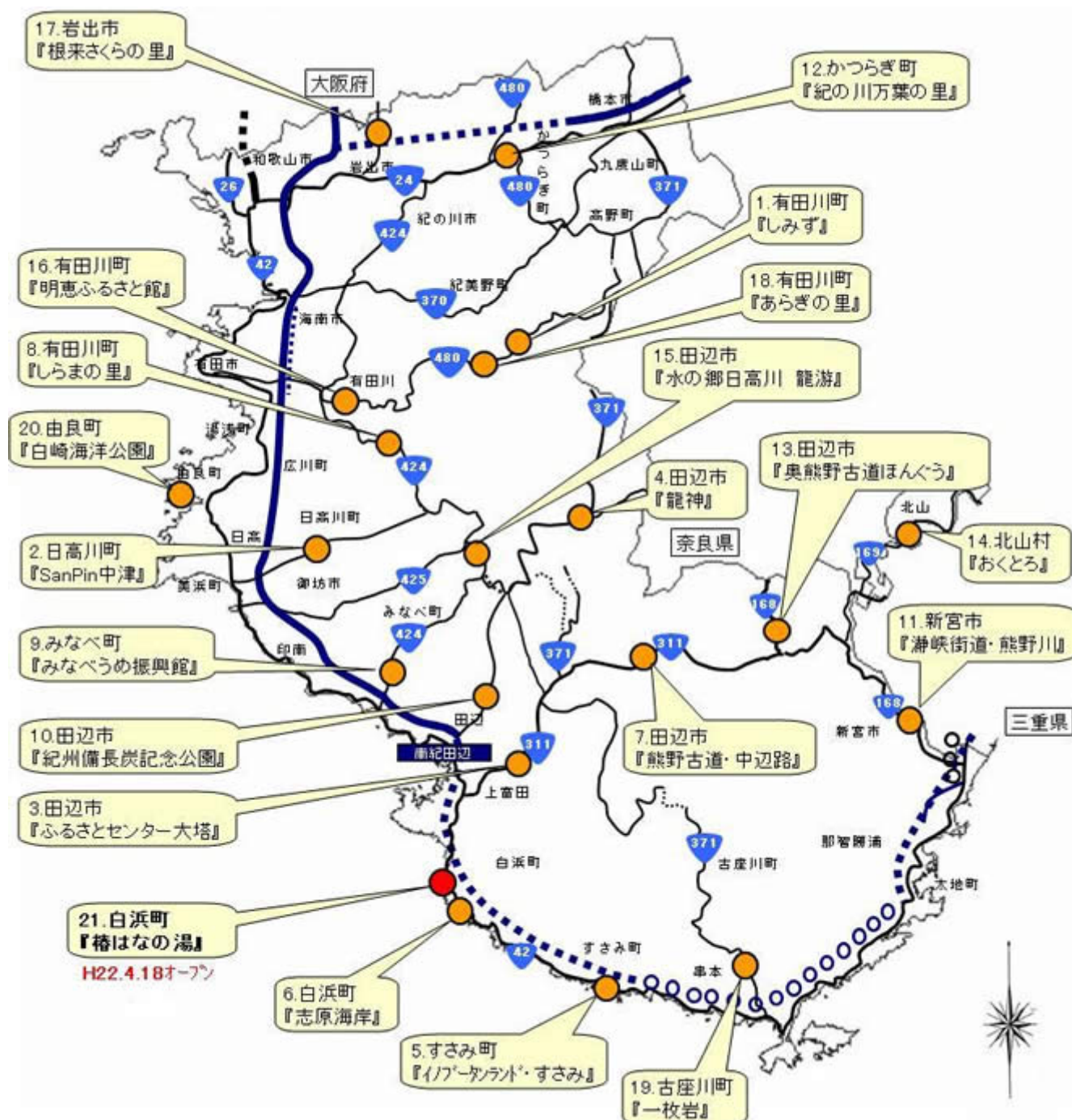
5 和歌山県の登録数

NO	道の駅名	所在地	道路
1	しみず	有田郡有田川町清水	国道480号
2	SanPin中津	日高郡日高川町船津	主要地方道御坊美山線
3	ふるさとセンター大塔	田辺市鮎川	国道311号
4	龍神	田辺市龍神村龍神	国道371号
5	イノブータンランド・すさみ	西牟婁郡すさみ町見老津	国道42号
6	志原海岸	西牟婁郡白浜町日置	国道42号
7	熊野古道中辺路	田辺市中辺路町近露	国道311号
8	しらまの里	有田郡有田川町宇井苔	国道424号
9	みなべうめ振興館	日高郡みなべ町谷口	国道424号
10	紀州備長炭記念公園	田辺市秋津川	主要地方道田辺龍神線
11	瀨峡街道熊野川	新宮市熊野川町田長	国道168号
12	紀の川万葉の里	伊都郡かつらぎ町窪	国道24号
13	奥熊野古道ほんぐう	田辺市本宮町伏拝	国道168号
14	おくとろ	東牟婁郡北山村下尾井字浦地	国道169号
15	水の郷日高川龍游	田辺市龍神村福井	国道424号

16	明恵ふるさと館	有田郡有田川町金屋	国道480号
17	根来さくらの里	岩出市押川	主要地方道泉佐野岩出線
18	あらぎの里	有田郡有田川町三田	国道480号
19	一枚岩	東牟婁郡古座川町相瀬	国道371号
20	白崎海洋公園	日高郡由良町大引	主要地方道御坊由良線
21	椿はなの湯	西牟婁郡白浜町椿	国道42号

第3章 和歌山県の道の駅の現状

1 和歌山県の道の駅全図



2 個々の道の駅

NO. 1 しみず

登録年月日	第1回登録 平成5年4月22日				
設置者	有田川町				
駅長名	前島 常男				
管理団体	清水町ふるさと開発公社				
所在地	有田郡有田川町清水607				
路線名	国道480号				
開設時間	24時間				
駅長の常駐	常駐している				
従業員数	正社員		パート	その他	合 計
	男性 1名	男性 名	男性 名	男性 名	
	女性 名	女性 3名	女性 名	女性 3名	
	計 1名	計 3名	計 名	計 4名	
売上傾向	減少傾向				
売上構成	物販（ 2%） レストラン（25%） その他（73%）				
年間来客数	19年度（ 万人） 20年度（ 万人） 21年度（ 万人）				
定期的に開催している行事	体験型イベント（魚のつかみ捕り、昆虫採集、間伐体験、田植え）を参加者を募って、それぞれ毎年1回開催している。				
TEL	0737—25—1288	FAX	0737—25—0891		
レストラン	休館日、年中無休（但し、12/1～3/31は毎週木曜日） 営業時間10：00～18：00（4月～9月） 10：00～17：00（10月～3月） （メニュー）山菜うどん・そば、ふれあい定食、チキンカレー等				
土産物売店	休館日、年中無休（但し、12/1～3/31は毎週木曜日） 営業時間10：00～18：00（4月～9月） 10：00～17：00（10月～3月） 販売品、山椒アイス、木工玩具、和紙製品、山椒製品、わさび製品				
駐車場	114台（大型車4台・普通車110台）				
公衆電話	2台				
トイレ	男性9器 女性5器				

障害者施設	トイレ1器 駐車場 スロープ
その他施設	休憩施設、情報提供施設、スポーツスライド、プール、テニスコート6面(内全天候型4面)、人工芝9ホールのパターゴルフ場、トレーラーハウス、釣り堀
アクセス	①「和高速道路有田IC」から県道吉備金屋線經由国道480号を高野山方面へ50分(大阪から1時間50分) ②JR紀勢本線藤並駅から車で1時間 ③道の駅「明恵ふるさと館」から車で40分(30km)
当駅の概要	「温泉とふるさと体験の町、しみず」 有田川町しみずは、和歌山県の北東部に位置する山に囲まれた町。霊峰高野山を源とする有田川の中間に位置し、国道480号沿いに「道の駅・しみず」がある。周辺には、しみず温泉や二川ダム湖、高野龍神スカイラインや見事な原始林が残る高野龍神国定公園などの景勝地の他、文化財、史跡なども数多くある。
おすすめポイント	「スポーツ心をくすぐる新しいふるさと空間」 「爽快、全長432mのスポーツスライド、全天候型施設・ふれあいドーム」 広大な駅敷地内には休憩、情報提供施設のほかにパターゴルフ場、テニスコート、プールなどスポーツ施設がいろいろある。なかでもリフトで山頂にのぼり、ソリに乗って全長432mを滑り降りるスポーツスライドは爽快。周辺にはキャンプ場など施設も多く、満足感があたえられる。
周辺観光施設	あらぎ島(車で約7分) 扇状の形をした有田川町の顔ともいえる棚田で、一度は見てみる価値のある素晴らしい景色。 しみず温泉(車で約3分)、二川温泉(車で約15分)、 高野龍神スカイライン(車で約30分)
当駅の長所	・体験型イベントに参加できる。 ・屋外施設が多くあり、老若男女が楽しめる。
当駅の問題点	・管理団体である清水町ふるさと開発公社が、別の場所で農産物の販売施設を運営しているので、物販(特に農産物)のアイテム数が少ない。 ・7～8月は体験型イベントの客が多くで年間売り上げの半分を占め、来客数の繁閑の差が激しい。
改善策	・体験型イベントの回数を多くする。 ・外部から当駅への来客のほとんどは、別の場所に農産物の販売施設があることを知らないと思うので、当駅でも農産物を販売する。

NO. 2 San Pin 中津 (サン・ピン・なかつ)

*San Pin は「産品」のローマ字化

登録年月日	第1回登録 平成5年4月22日				
設置者	日高川町				
駅長名	西 和洋				
管理団体	(財)日高川ふるさと振興公社				
所在地	日高郡日高川町船津802				
路線名	主要地方道御坊美山線				
開設時間	24時間				
駅長の常駐	常駐している				
従業員数	正社員		パート	その他	合計
	男性 1名	男性 1名	男性 名	男性 2名	
	女性 1名	女性 13名	女性 名	女性 14名	
	計 2名	計 14名	計 名	計 16名	
売上傾向	物販は増加傾向 レストランは横ばい				
売上構成	物販（90％）約135百万円/年、 レストラン（10％）約15百万円/年				
年間来客数	19年度（10.3万人） 20年度（10.7万人） 21年度（11万人）				
定期的に開催している行事	・ ゴールデンウィークにカブトムシの森との連携イベント ・ 4月にエビネ蘭の展示・販売会 ・ 定期的にホロホロ鳥の焼き鳥をテント販売				
TEL	0738—54—0541	FAX	0738—54—0177		
喫茶あやめ	＊店名を「あやめ」としたのは、旧中津村出身で元禄期を代表する歌舞伎の女形、芳沢あやめに由来する。 休館日、毎週水曜日と1月1～2日 営業時間8：00～18：00（4月～9月） 8：30～18：00（10月～3月） （メニュー）ホロホロメニュー(ホロホロドンブリ、ホロホロラーメン等)、麺類と喫茶				
展示販売所	休館日、毎週水曜日と1月1～2日 営業時間8：00～18：00（4月～9月） 8：30～18：00（10月～3月） 販売品、日高川町特産ホロホロ鳥、猪肉、生しいたけ、乾燥しいたけ、しめじ、花卉、季節の果物、みそ、ジャム、漬け物等				

駐車場	37台（大型車2台・普通車35台）
公衆電話	1台
トイレ	男性7器 女性2器
障害者施設	トイレ1器
その他施設	道路・地域の情報提供、娯楽・宿泊施設などの案内、林産物加工展示場
アクセス	①「浅御坊道路川辺ICから県道玄子小松原線・町道三百瀬中津川線經由県道御坊美山線を龍神方面へ20分（大阪から2時間） ②JR紀勢本線御坊駅から車で30分
当駅の概要	「休憩処、そして地域活性の拠点として」 「道の駅・San Pin 中津」は、日高川町を訪れる方々に安全で快適な旅を楽しんでいただくための憩いの場、情報発信の場としてはもちろん、地域振興の一助となるように開設された。 駐車場、トイレ、電話の24時間利用が可能など、利用者への休憩サービスを充実。案内所では町の名所・旧跡や娯楽・宿泊施設の案内を実施している。
おすすめポイント	「四季、自然の息吹が感じられる、山里の駅」 「ホロホロ鳥、猪肉、しいたけ、四季折々の産物を展示販売」 駅では、町の特産物のホロホロ鳥、生しいたけ、乾しいたけ、しめじ、はっさく、猪肉など、四季おりおりの産物を展示販売。みそ、ジャム、漬け物など日高川町ならではの新鮮な川の幸、山の幸を取り揃えている。
インフォメーション	（情報コーナー） 道路・地域の情報提供、娯楽・宿泊施設などの案内を実施。 （林産物加工展示場） 加工所は簡易保険の融資施設で山里の生產品の加工過程などを見学できる。
周辺観光施設	日高川の鮎釣り（車で約1分） 夏場は道の駅の近くの日高川で鮎釣りを楽しめる。 日高川ふれあいドーム（車で約5分） ラグビーボール形をした多目的ホール。 きのくに中津荘（車で5分） ふるさと体験や学習ができ、宿泊もできる。 中津温泉あやめの湯鳴滝（車で10分） 日高川の溪流のすぐそばで、ゆったり、のんびり、リフレッシュ。
当駅の長所	・地元産を中心に販売し、野菜等の価格が安価で、観光客・地元住民ともに人気がある。

当駅の 問題点	・高齢化で少量多品目の品揃えが困難になってきている。若年層は利益重視で少量多品目の生産をしない。 ・高速道路の南進で、竜神温泉へ行く観光客の通行が減少した。
改善策	・集荷地域を広げる。 ・高齢者福祉を考慮して、元気な高齢者に集荷業務を委託する。

NO. 3 ふるさとセンター大塔（ふるさとセンターおおとう）

登録年月日	第4回登録 平成6年11月24日																			
設置者	田辺市																			
駅長名	真砂 充敏（市長）																			
管理団体	大塔村観光事業振興会																			
所在地	田辺市大塔村鮎川1000																			
路線名	国道311号																			
開設時間	24時間																			
駅長の常駐	常駐していない																			
従業員数	<table border="1"> <tr> <th>正社員</th> <th>パート</th> <th>その他</th> <th>合 計</th> </tr> <tr> <td>男性 名</td> <td>男性 名</td> <td>男性 名</td> <td>男性 名</td> </tr> <tr> <td>女性 名</td> <td>女性 3名</td> <td>女性 名</td> <td>女性 3名</td> </tr> <tr> <td>計 名</td> <td>計 3名</td> <td>計 名</td> <td>計 3名</td> </tr> </table>	正社員	パート	その他	合 計	男性 名	男性 名	男性 名	男性 名	女性 名	女性 3名	女性 名	女性 3名	計 名	計 3名	計 名	計 3名			
正社員	パート	その他	合 計																	
男性 名	男性 名	男性 名	男性 名																	
女性 名	女性 3名	女性 名	女性 3名																	
計 名	計 3名	計 名	計 3名																	
売上傾向	減少傾向																			
売上構成	物販（60%） レストラン（40%） その他（ %）																			
年間来客数	19年度（ 4万人） 20年度（ 4万人） 21年度（ 4万人）																			
定期的に開催している行事	特に実施していない。																			
TEL	0739-49-0143	FAX	0739-49-0371																	
レストラン （い菜香）	休館日、毎週火曜日、営業時間9:00～20:00 （メニュー）熊野三山弁当、いなか弁当、三体月カレー、丼物、麺類																			
物産館	休館日、毎週火曜日、営業時間10:00～17:30 販売品、木工品、猪肉、しめじ、椎茸、番茶、梅、佃煮、山菜、山野草、薬草、鮎																			
駐車場	17台（大型車2台・普通車15台）																			
公衆電話	2台																			
トイレ	男性9器 女性3器 ベビーベッド																			
障害者施設	トイレ1器 スロープ																			
その他施設	周辺の観光、キャンプ、宿泊の案内、ドライバーと地域の人々との交流をサポート。 木工実習室、交流談話室、食品加工工場																			
アクセス	① 和自動車道南紀田辺ICから国道42号を経由国道311号を熊野方面へ40																			

	分（大阪から3時間） ②JR紀勢本線紀伊田辺駅から車で30分
当駅の概要	「緑、清流、まごころの里」 平成17年5月、大塔村は田辺市と合併し新しい「田辺市」となった。ここには澄んだ空気と清流、あざやかな緑があふれている。素朴な人情、豊かな自然と保護された文化財があり、文化庁指定の「かもしか」の棲息地でもある。 春には山菜、つつじ狩り。夏は魚釣り、キャンプ。秋には紅葉狩り、溪谷探索。そして冬登山と、四季を通じて大自然を楽しめる。 駅周辺には、青少年旅行村、キャンプ村なども整備されており、バンガローが建ち並んでいる。
おすすめポイント	地元木材を使った木工実習が人気の交流館 「道の駅・ふるさとセンター大塔」は、田辺市大塔地域の拠点施設のひとつとして林産物、特産物をご用意し、道路利用者と、地域との交流をサポート。 木を使った木工実習や、交流談話室などが利用できる。
インフォメーション	(情報コーナー) 周辺の観光、キャンプ、宿泊の案内など、ドライバーと地域の人々との交流をサポート。 (木工実習室) (予約必要) 村で切り出した豊富な木材を使って、木のアクセサリー、玩具、食器を手づくり体験できる。 (交流談話室) 地域の人々の相互交流や訪れた人々との交流、安らぎの場などとして多目的に利用可能。 (加工工場) (予約必要) 手づくり味噌や佃煮の製造過程を見学できる。製品は物産館で即売。
周辺観光施設	合川ダム（車で約40分） ダム周辺の景色抜群の溪流で、鮎・アマゴ・ヘラブナなどの釣りが楽しめる。 百間山溪谷（車で約40分） 自然に親しみながら初級者から上級者まで楽しめるハイキングコースのほか、かもしか牧場、キャンプ村などがある。
当駅の長所	・地元産品が豊富に揃っている。 ・レストランに英語のメニューがある。

当駅の問題点	・駐車場が少なく、バス等が止めにくい。 ・熊野古道が世界遺産になって以来、観光客が熊野古道に流れ、集客数、売上高が減少傾向になっている。 ・カーブの途中に進入口があり見通しが悪く、周辺道路はスピードを出やすい場所なので事故が心配。
改善策	・P R活動等の検討を行う。

NO. 4 龍神（りゅうじん）

登録年月日	第7回登録 平成7年1月30日				
設置者	田辺市				
駅長名	栗原 秀嘉				
管理団体	龍神村森林組合				
所在地	田辺市龍神村龍神170-3				
路線名	国道371号				
開設時間	24時間				
駅長の常駐	常駐している				
従業員数	正社員		パート	その他	合計
	男性 名	男性 1名	男性 1名	男性 2名	
	女性 名	女性 4名	女性 2名	女性 6名	
	計 名	計 5名	計 3名	計 8名	
売上傾向	減少傾向				
売上構成	物販（65%） レストラン（35%） その他（ %）				
年間来客数	19年度（5.9万人） 20年度（5.8万人） 21年度（5.5万人）				
定期的に開催している行事	特にしていない。				
TEL	0739-79-0567	FAX	0739-79-0578		
喫茶・御食事コーナー	休館日、4～11月は無休、12～3月は毎週水曜日、12月29日～1月1日 営業時間9：00～17：00（7～10月は延長あり） （メニュー）アマゴ甘露煮定食、鮎甘露煮定食、なめこ丼定食、きじ丼、山菜うどん等の麺類				
土産品コーナー	休館日、4～11月は無休、12～3月は毎週水曜日、12月29日～1月1日 営業時間9：00～17：00 販売品、天然しいたけ、梅ドレッシング、柚べし、木工類、竹細工 管理団体の龍神村森林組合が他所で地場産野菜の直売所を開設しているので、当駅では地場産野菜を販売していない。				
駐車場	28台（大型車3台・普通車25台）				
公衆電話	1台				

トイレ	男性7器 女性6器
障害者施設	トイレ2器 駐車場
その他施設	道路情報の提供や、龍神温泉・霊峰高野山周辺の観光案内、ウッディプラザ木族館
アクセス	高野山から高野龍神スカイラインで龍神方面へ1時間（大阪から3時間20分）
当駅の概要	「霊峰の奥座敷に広がる、桃源郷」 平成17年5月1日、市町村合併により新しく田辺市となった龍神村は、和歌山県東部中央に位置し、深い山々に囲まれた桃源郷の村である。林業の村として栄えてきたが、近年、龍神温泉が脚光を浴び、温泉観光地としても全国的に有名である。 「道の駅・龍神」は、国道371号沿い、霊峰高野山へと通じる高野龍神スカイラインの起点に位置し、清流・日高川のすぐ近くにある。
おすすめポイント	「緑の中、美人の湯龍神温泉でほっと一息」 「龍をイメージした自慢の木造建築」 駅を中心の「ウッディプラザ木族館」は、建物自体が龍神村の「龍」をイメージモチーフにして造られ、大径木を柱に多用。特産の木工品も販売している。 駅から日本三美人の湯「龍神温泉」まで1000m。
インフォメーション	（情報コーナー） 道路情報の提供や、龍神温泉・霊峰高野山周辺の観光案内をしている。 （ウッディプラザ木族館） 玄関の樹齢350年の梅の巨木に注目。館内には昔を偲ばせる林業の古い道具、民具を多数陳列している。
周辺観光施設	龍神温泉（車で約2分） 透明の重曹泉。胃腸病や神経痛に効くほか、皮膚をきれいにするので、「日本三美人の湯」のひとつに数えられている。
当駅の長所	・日高川を背に、地域の木材を使用した建物で、別名、木族館とも呼ばれている。 ・また、天候のよい日はウッドデッキで食事もできる。
当駅の問題点	・熊野古道が世界遺産になって以来、観光客が熊野古道に流れ、集客数、売上高が減少傾向になっている。 ・土産品コーナーの地場製品の展示が少ない。 ・地域住民の高齢化、及び後継者不足による商品供給の減少。 ・繁忙時に臨時駐車場がない。 ・道路条件の関係（冬季に凍結）で、冬季に来客数が少ない。 ・利益率の確保策が考えられていない。

改善策	・売上高を向上させるため、食堂メニューの改善をはかる。 ・食堂メニューを含む販売品の特色化を検討する。 ・周辺市町村からの商品の供給をおこない、野菜を中心とする地場産品の流通経路の確立をはかる。 ・部門別・商品郡別採算計算の実施をし、不採算部門対策を検討する。
-----	---

NO. 5 イノブータンランド・すさみ

登録年月日	第8回登録 平成7年4月1日					
設置者	すさみ町					
駅長名	間所 準次					
管理団体	見老津保郷会					
所在地	西牟婁郡すさみ町見老津1－32					
路線名	国道42号					
開設時間	24時間					
駅長の常駐	常駐していない					
従業員数	正社員		パート	その他	合 計	
	男性	名	男性	名	男性	名
	女性	名	女性	1名	女性	3名
	計	名	計	1名	計	3名
売上傾向	増加傾向					
売上構成	物販（100%） レストラン（ %） その他（ %）					
年間来客数	19年度（ 5万人） 20年度（4,5万人） 21年度（5,5万人）					
定期的に開催している行事	特に無し					
TEL	0739－55－4686		FAX	0739－55－4686		
イノブータン城	休館日、年中無休 営業時間9：00～17：00 販売品、海産物、野菜、けんけん最中などの菓子、イノブタグッズ、民芸品					
駐車場	15台（大型車5台・普通車10台）					
公衆電話	1台					
トイレ	男性6器 女性4器					
障害者施設	トイレ 駐車場					
その他施設	パンフレットやパネルを用意して観光情報や道路情報をドライバーに提供、イノブータン王国コーナー、枯木灘展望台					
アクセス	①「阪和自動車道南紀田辺ICから国道42号を串本方面へ1時間 （大阪から3.5時間） ②JR紀勢本線周参見駅から車で10分					
当駅の概要	「海と山に恵まれた町、すさみ」					

	紀伊半島の南西部に位置するすさみ町は、前はリアス式海岸が続く雄大な太平洋、背後には紀伊山地がせまる自然の豊かなところである。県の畜産試験場で、猪を父に豚を母にもつイノブタが誕生。町ではそのイノブタにちなんだミニ独立国「イノブータン王国」を建国、イノブタダービーの開催、キャラクターグッズの販売などを行ってユニークな町づくりを進めている。
おすすめポイント	「熊野灘を見晴らす町の観光拠点」 「道の駅・イノブータンランド・すさみ」は、海岸線に沿って走る国道42号に面して建っている。駅では写真パネル、大型TVなどにより「イノブータン王国」の紹介を行っているほか、新鮮な魚介類や野菜、イノブタグッズなどすさみならではのおみやげを販売。観光や休憩の拠点として、気軽にご利用されている。
インフォメーション	(情報コーナー) パンフレットやパネルを用意して観光情報や道路情報をドライバーに提供。 (王国コーナー) 大王・王妃の人形、ぬいぐるみ、写真パネル、大型TVなどを使って「イノブータン王国」を紹介。 (枯木灘展望) 変化に富んだリアス式海岸と雄大な太平洋を一望できる。潮風に吹かれながらリフレッシュを。
周辺観光施設	沖の黒島・陸の黒島（車で約2分） 満ち潮がぶつかり合って起こる夫婦波（合掌波）が見もの。沖の黒島には熊野海賊の財宝伝説も。 日本童謡の園（車で約5分） 童謡のモニュメントや詩碑が並ぶ園内を歩けば、懐かしメロディが流れる。海を眺め、幼い頃の思い出に浸られる。 すさみ海水浴場（車で約10分） 毎年5月3日、ここを会場に生後3ヵ月のイノブタによるダービーを開催。連勝複式の豚券を発行、町中がレースに白熱。 広瀬溪谷・琴の滝（車で約20分） 周参見川支流に刻まれた広瀬溪谷には元服の滝、朝虹の滝など大小10余りの滝がかかっている。最奥にある琴の滝は特に豪快。
当駅の長所	・駅前の海岸が豪壮で景色がよい。 ・すさみ特産のイノブタ肉「イブの恵み」や郵送できる。

	・イカの葉書「するめーる」などを販売している。 ・駅から300mでイノブタハウス（県畜産試験場）を見学できる。
当駅の 問題点	・駐車場が狭い。 ・集落から約3km離れているので、地元客の割合が少ない。 ・今後、阪和道の南進で国道42号線の利用者が減少し、駅利用客も減少するのではないかが今後の課題。
改善策	・定期または随時のイベントを開催する。 ・イノブタ関連情報発信力の強化をする。 ・さらなる集客力強化、販売促進策として、良質安価な地元産品の確保と販売促進を図る。

NO. 6 志原海岸（しはらかいがん）

登録年月日	第9回登録 平成7年8月3日							
設置者	白浜町							
駅長名	水元 雄三（町長）							
管理団体	白浜町							
所在地	西牟婁郡白浜町日置2039-73							
路線名	国道42号							
開設時間	24時間							
駅長の常駐	常駐していない							
従業員数	正社員		パト		その他	合 計		
	男性	1名	男性	名	男性	1名	男性	2名
	女性	名	女性	6名	女性		女性	6名
	計	1名	計	6名	計	1名	計	8名
売上傾向	減少傾向							
売上構成	物販（40%） レストラン（60%） その他（ %）							
年間来客数	19年度（16.8万人） 20年度（11万人） 21年度（10.4万人）							
定期的に開催している行事	なし							
TEL	0739-52-4100		FAX	0739-52-4388				
レストラン 「海来館」	休館日、毎週水曜日 営業時間8：30～15：30 （メニュー）海来館定食、 日替わり定食、生マグロのお造り定食、生マグロ丼、生マグロの山かけ定食、タイめし(季節により)、その他お造り定食、麺類、飲物							
展示販売所 「海来館」	休館日、毎週水曜日 営業時間8：30～17：00 販売品、地元とれたての牛乳でつくったアイスクリーム、紀州備長炭、川添茶、梅製品、干物、木工品							
駐車場	37台（大型車7台・普通車30台）							
公衆電話	1台							
トイレ	男性7器 女性5器							
障害者施設	トイレ1器 駐車場2台 スロープ							
その他施設	にこにこ市							

アクセス	①「阪和高速道路南紀田辺ＩＣから国道４２号を串本方面へ４０分 ②伊勢自動車道勢和多気ＩＣから国道４２号を田辺方面へ４時間４０分 ③ＪＲ紀勢本線紀伊日置駅から車で１０分
当駅の概要	「紀州備長炭とアユの町、日置川」 和歌山県南部に位置する白浜町日置川は、海と山と川に囲まれた自然の豊かなところである。町の特産物は全国的にも名高い紀州備長炭。
おすすめポイント	「とれとれの紀伊の幸を召し上がれ」「太平洋を眺めながら自慢の味を」 「道の駅・志原海岸」は、町の中心を走る国道４２号沿いにあり、雄大な太平洋を一望にできる。駅内の売店では、町内の特産品を多数そろえて販売。生け簀には地元でとれた魚が泳ぎ、その場で料理して食べることもできる。レストランでも魚料理を中心としたメニューを用意、シーズン限定のタイめしは一度味わってみる価値あり。国道を挟んだ向かいに、テニスの盛んな町を象徴する町営のテニスコート１２面があるほか、志原の千畳敷へも近く便利である。
周辺観光施設	町営テニスコート（「道の駅」前） オムニコート１２面（内３面ナイター設備）料金、半日３，１５０円、１日５，２５０円、昭和４６年度和歌山県国体硬式テニス会場として建設。シャワー完備。 志原の千畳敷（徒歩で約１０分） 熊野灘に向かって畳を敷きつめたような岩場。大洞窟とともに男性的な景観を見せている。磯遊びも楽しめる。 磯釣り場（車で約５分） 黒潮あらう熊野灘の岩場は魚の宝庫。クエ、イガミ、イシダイ、グレなどが釣れる。 日置川（車で約１０分） 紀伊半島最後の清流ともいわれる日置川は、アユ、アマゴ、ウナギの宝庫。特にアユは有名で、毎年アユ釣りの全国大会も開催されている。 塩野薬師堂（車で約１０分） 平安時代後期の格調高い仏像が安置されている。県下では数少ない貴重なもので一見の価値あり。 八草の滝（車で約３０分） 日置川の中流、２２ｍの高さから七色のしぶきをあげて流れ落ちる美しい滝。日本百滝にも選ばれている。 町営向平キャンプ村（車で約１５分） 緑の山々に囲まれた日置川畔でキャンプが楽しめる。トイレ、シャワー、炊事棟もあ

	る。 大辺路街道（仏坂越え） ユネスコ世界遺産登録中の熊野古道の一つで、日置川上流の安居からすさみ町に抜ける古道。ウォーク時間約3時間20分。距離約12km にここ市 道の駅敷地内にあるこの施設は、町内で生産した農作物や手工芸品を販売。生産者の顔が見える「市」として好評。営業時間 8:30～13:00、火曜日休市
当駅の長所	・2階で海を見ながら食事ができる。 ・地元の新鮮な魚が食べられるので、リピーターが多い。
当駅の問題点	・当駅の敷地内にJA経営の地元野菜売り場(にここ市)があるので、展示販売所で地元野菜を販売していない。 ・ありきたりなお土産が多い。
改善策	・レストランの営業時間の延長で、来店客数の増加を図る。 ・地元特有の土産品の発掘や、新規制作により展示販売所に特徴を持たす。

NO. 7 熊野古道中辺路（くまのこどうなかへち）

登録年月日	第10回登録 平成8年4月16日																																			
設置者	田辺市																																			
駅長名	真砂 充敏（町長）																																			
管理団体	田辺市																																			
所在地	田辺市中辺路町近露																																			
路線名	国道311号																																			
開設時間	24時間																																			
駅長の常駐	常駐していない																																			
従業員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">正社員</th> <th colspan="2">パート</th> <th colspan="2">その他</th> <th colspan="2">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>5名</td> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5名</td> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>				正社員		パート		その他		合 計		男性	名	男性	名	男性	名	男性	名	女性	5名	女性	名	女性	名	女性	5名	計	5名	計	名	計	名	計	5名
正社員		パート		その他		合 計																														
男性	名	男性	名	男性	名	男性	名																													
女性	5名	女性	名	女性	名	女性	5名																													
計	5名	計	名	計	名	計	5名																													
売上傾向	減少傾向																																			
売上構成	物販（70%） レストラン（30%） その他（ %）																																			
年間来客数	19年度（45.6万人） 20年度（10万人） 21年度（11万人） 20年度の来客数が激減しているのは、カウント方法の変更による。																																			
定期的に開催している行事	5月に開店記念として、餅搗きや粗品配布																																			
TEL	0739-65-0671		FAX	0739-65-0671																																
レストラン	休館日、年中無休 営業時間9:00～17:00 （メニュー）キジ井、軽食、梅うどん等の麺類																																			
農林産物販売所	休館日、年中無休 営業時間9:00～17:00 販売品、草餅、山菜、味噌、めはりずし、干椎茸																																			
駐車場	21台（大型車3台・普通車18台）																																			
公衆電話	1台																																			
トイレ	男性4器 女性7器																																			
障害者施設	トイレ1器 駐車場1台																																			
その他施設	熊野古道の観光案内の他、紀南地方の情報満載、座敷でくつろげる休憩所																																			
アクセス	①JR紀勢本線紀伊田辺駅下車、龍神バスにて熊野本宮行きに乗り牛馬童子口で下車すぐ。																																			

	②阪和自動車道南紀田辺インターをおり、国道４２号を南へ２０分、国道３１１号を本宮方面へ約４０分。
当駅の概要	「歴史と文化満載、古代と現代の接点、中辺路」 中辺路の熊野古道と国道３１１号との接点にあるのが「熊野古道中辺路」である。 古道を歩く人とドライバーの両者の休憩の地としてにぎわい、周辺には牛と馬にまたがったかわいらしい童子の像や、後鳥羽上皇が歌会を催したとされる近露王子など歴史豊かな場所で、熊野古道とのアクセスには絶好のポイントである。
おすすめポイント	「日本三大古道のひとつ、平安時代にタイムスリップ」 当道の駅は花笠をイメージした物産販売所があり、地元特産物の販売の他、座敷でくつろげる休憩所や古道案内図を完備、都会と山村の人々の楽しい出会いの場としてご利用されている。
インフォメーション	(情報コーナー) 熊野古道の観光案内の他、紀南地方の情報満載。 (座敷でくつろげる休憩所)
周辺観光施設	熊野古道（駅よりすぐ） 歴史の道として三大古道のひとつに選定されている。田辺から山中に分け入り本宮へ至る道を中辺路といい、古道散策者の為、周辺整備がなされている。 牛馬童子像（徒歩１０分） 牛と馬にまたがった童子の像は、素朴な珍しいかたちの石像で、熊野古道中辺路のシンボルになっている。 木古里（車で５分） 田辺市中辺路町の物産や木工品、かわいい土産物など楽しい雰囲気のある館である。休憩もできる
当駅の長所	・田舎らしい（どろくさい）ところが受けている。 ・野菜等の旬のものを旬の時期に販売する。 ・餅、サンマ寿司、めはり寿司等は地元で作って、毎日搬入しているので新鮮である。
当駅の問題点	・近くに大規模なドライブインがオープンして、売上が激減した。 ・建物、駐車場ともに狭い。トイレも狭い。 ・熊野古道が世界遺産に登録され、近隣が風致地区になったので拡張が困難である。 ・食堂と販売所の仕切りがないので非衛生的である。 ・キジ井は近隣の他の道の駅に比べて高い。
改善策	・近隣の他の道の駅を見学して、当駅の改善点を考える。 ・食堂と販売所をパーテーションで仕切る。

NO. 8 しらまの里（しらまのさと）

登録年月日	第11回登録 平成8年8月5日						
設置者	有田川町						
駅長名	中山 正隆（町長）						
管理団体	有田川町						
所在地	有田郡有田川町字井苔213-1						
路線名	国道424号						
開設時間	24時間						
駅長の常駐	常駐していない						
従業員数	正社員		パート	その他	合 計		
	男性	名	男性	名	男性		名
	女性	6名	女性	3名	女性		9名
	計	6名	計	3名	計		9名
売上傾向	減少傾向						
売上構成	物販（100%） レストラン（ %） その他（ %）						
年間来客数	19年度（4.5万人） 20年度（ 4万人） 21年度（ 3万人）						
定期的に開催している行事	特になし。						
TEL	0737-32-4970		FAX	0737-32-4970			
農林産物直売所	休館日、元旦のみ 営業時間、8:00～17:30、 販売品、梅干し、生椎茸、原木乾し椎茸、山椒、味噌、木工品、鮎、みかん						
駐車場	23台（大型車1台・普通車22台）						
公衆電話	1台						
トイレ	男性4器 女性5器						
障害者施設	トイレ1器 駐車場2台 スロープ						
アクセス	阪和自動車道有田ICより県道22号・国道424号を経由約30分						
当駅の概要	「満喫できる自慢の立地条件」 白馬の滝、明恵上人紀州遺跡、那智の滝に次ぐといわれる落差50mの次の滝など、豊かな自然環境に恵まれた場所に位置し、有田みかんの産地であり、近くではブドウ						

	狩りが楽しめる。また、しらまの味覚を集めた特産品の展示販売を通して都市地域との交流を図り地元産業活性化の拠点となっている。
おすすめポイント	「白馬にいだかれた自然豊かな山間の里」 国道424号沿い、熊野地方への玄関口となる地点に位置し、ドライバーの憩いの場として、アウトドアライフの拠点としてにぎわっている。
インフォメーション	(情報コーナー) 地図、パンフレットを用意している。 農林産物直売所の横に設置。長距離ドライブにひとときのやすらぎを与えている。
周辺観光施設	薬王寺、白岩丹生神社、法音寺（車で20分） 国の重要文化財に指定されている。 白馬の滝（車で10分）、有田巨峰村観光ブドウ園（車で20分）、 かなや明恵峡温泉（車で10分）
当駅の長所	・小さな店であるが、ゆっくりと買い物ができる。 ・料理方法などを聞かれても丁寧に教えている。 ・地元の豊富な林産物を中心とした商品展開を心がけている。
当駅の 問題点	・地元の豊富な林産物を中心とした商品展開を心がけているが、商品構成は県内の遠隔地での生産品が多い。 ・当道の駅の所在地は過疎地域であり、地元住民による賑わいに欠ける。 ・高速道路の南進に伴い、国道424号線を利用する車両が年々減少しており、売上も比例して減少傾向である。 ・店員の高齢化がすすんでいる。 ・旧式レジスターを使用しているので、レシートの発行ができない。 ・ラッキョウをインスタントコーヒーの空瓶に入れて販売しているのは論外である。 ・安全、安心が売り物の道の駅の商品に添加物が入っているのは、感心できない。 ・休憩室兼情報コーナーが物置になってしまっている。 ・商品構成や陳列は、田舎のよろずやという感じで、道の駅というより、どちらかというと近隣住民の普段の生活用品を売っている店という雰囲気である。
改善策	・商品構成を見直し、地元商品の開発を行う。 ・店員の若返りを図る。 ・休憩室兼情報コーナーの有効利用を考える。

NO. 9 みなべうめ振興館（みなべうめしんこうかん）

登録年月日	第12回登録 平成9年4月11日					
設置者	みなべ町					
駅長名	小谷 芳正（町長）					
管理団体	みなべ町					
所在地	日高郡みなべ町谷口 538－1					
路線名	国道424号					
開設時間	24時間					
駅長の常駐	常駐していない					
従業員数	正社員		パート		その他	合 計
	男性	名	男性	名	男性	名
	女性	名	女性	2名	女性	2名
	計	名	計	2名	計	2名
売上傾向	横ばい					
売上構成	物販（100%） レストラン（ %） その他（ %）					
年間来客数	19年度（2,2万人） 20年度（ 2万人） 21年度（ 2万人）					
定期的に開催している行事	年2回フリーマーケット					
TEL	0739－74－3444		FAX	0739－74－3665		
農林産物直売所（3階）	農林産物直売所はみなべ町商工会が運営し、商工会会員の産物を展示。 休館日、毎週水曜日（2月は無休）、元旦 営業時間7：00～18：00 販売品、梅干し、梅製品、生椎茸、山椒、味噌、木工品、鮎、みかん、紀州備長炭					
駐車場	23台（大型車1台・普通車22台）					
公衆電話	1台					
トイレ	男性4器 女性5器					
障害者施設	トイレ1器 駐車場1台 スロープ					
アクセス	阪和自動車道みなべICより、国道424号を龍神方面約5分。					
当駅の概要	春まだ浅き頃、百花に先がけ白い花をつけて春を知らせ、6月、青く新鮮な実が熟して暑い夏を告げる。梅干の言葉が出てくるのは、平安時代の中頃。みなべの梅は、江戸時代、紀州田辺藩が耕地に恵まれない農民のために免祖としてやせ地等を利用し					

	た梅栽培を奨励したのが始まりである。明治中期、みなべ町晩稲の先覚者「内中源蔵」が、荒山約4ヘクタールを開墾して梅に一生を捧げました。明治34年頃には、初めて加工工場が出来以後、悪疫（薬用）、日の丸弁当で需要が高まり、これを基礎に今日の紀州梅を日本一の生産地とした。
おすすめポイント	梅の王様「南高梅」発祥の地 おすすめは、本場みなべ町の紀州みなべの南高梅干と、村のもう一つの特産品である紀州備長炭
周辺観光施設	紀州備長炭振興館（車で30分） 備長炭の歴史、伝統、文化、製造工程が一目でわかる。各種木炭、炭に関する資料、道具、製品などが展示されている。 鶴の湯温泉（車で15分） 鶴が羽を休め傷を治したと伝えられることから名付けられた。この温泉は、炭酸水素ナトリウムを多量に含み、切り傷や疲労回復に効果があり、多くの人に親しまれ、宿泊施設もある。 南部梅林(車で約10分) 「一目100万、香り10里」といわれ、日本一の規模を誇る梅。満開時期になると山全体に白いじゅうたんを広げたようになり、甘い香りがただよう。期間中は、梅園を開放し、園内を散策できる。
当駅の長所	・日本一の梅の町を全国に情報発信する拠点施設である。 ・1階・2階は、みなべ町の農耕と人々のあゆみや「梅」に関する人物、歴史、文学、サイエンスなどさまざまな視点でとらえた資料展示室になっている。
当駅の問題点	・建物自体が資料館中心になっているので、道の駅だということが分かりにくい。 ・みなべ町の特産品の物産販売所が3階にあるため、売上が伸びない。 ・販売員の来客に対する対応に問題がある。
改善策	・建物をいかにして目立つようにするか工夫をする。 ・のぼりを駐車場等に掲げて通行車両に注目させる。 ・販売員の応対話法の教育をする。

NO.10 紀州備長炭記念公園（きしゅうびんちょうたんきねんこうえん）

登録年月日	第12回登録 平成9年4月11日							
設置者	田辺市							
駅長名	坂本純生							
管理団体	田辺市							
所在地	田辺市秋津川1491-1							
路線名	主要地方道田辺龍神線							
開設時間	24時間							
駅長の常駐	常駐している							
従業員数	正社員		パート		その他	合計		
	男性	名	男性	2名	男性	名	男性	2名
	女性	名	女性	10名	女性	名	女性	10名
	計	名	計	12名	計	名	計	12名
売上傾向	減少傾向							
売上構成	物販（58%） レストラン（34%） その他（8%）							
年間来客数	19年度（6.3万人） 20年度（5.6万人） 21年度（5.2万人）							
定期的に開催 している行事	3月の日曜日に春祭り 12月の日曜日に山祭り							
TEL	0739—36—0226		FAX	0739—36—8088				
（茶房） 備長の郷	休館日、毎週水曜日（祝祭日の場合翌日）、12月31日～1月1日 営業時間9：00～17：00 （メニュー）備長炭ラーメン、冷炭めん、丼物、麺類、軽食（カレー、焼き飯等）、 ソフトクリーム、シャーベット							
物産物販売コ ーナー	休館日、毎週水曜日（祝祭日の場合翌日）、12月31日～1月1日 営業時間9：00～17：00 販売品、地域の特産品（野菜、果物、木炭等）、備長炭風鈴							
駐車場	20台（大型車3台・普通車17台）							
公衆電話	1台							
トイレ	男性6器 女性5器							
障害者施設	トイレ1器 駐車場1台							
その他施設	紀州備長炭発見館、バーベキュー施設							

アクセス	①阪和自動車道みなべＩＣから国道４２号經由県道田辺龍神線を龍神村方面へ１時間。（大阪から２時間３０分） ②ＪＲ紀勢本線紀伊田辺駅から車で２０分
当駅の概要	「紀州備長炭発祥の地、田辺市」 田辺市の秋津川地域は紀州備長炭発祥の地といわれ、古くから炭焼きの里として、栄えており、現在も昔ながらの製法の炭焼きが盛んである。
おすすめポイント	「紀州備長炭発祥の地」 道の駅紀州備長炭記念公園は龍神村、白浜とのあいだに位置している。発見館は、木炭の歴史、芸術の分野などを展示している。
インフォメーション	（紀州備長炭発見館） 木炭に関する資料展示 営業時間 ９：００～１７：００ 料金 大人 ２１０円 小人 １００円 団体（２０名以上）、大人 １６０円、小人 ７０円 （バーベキュー施設）（予約制） TEL ０７３９—３６—０３０１ FAX ０７３９—３６—８０８８ 営業期間 ４月１日～１０月３１日 AM１０：００～PM４：００ ５月１日～９月３０日の金・土・日・祝日・祝前日はAM１０：００～PM８：３０ 収容人員：６８名 おまかせコース（２時間）お一人様：２，５００円 セットメニュー：牛肉、焼き鳥、ウィンナー、イカ、エビ、野菜、ライス、みそ汁、たれ 持ち込みコース（２時間）食器つき ご利用人数 ご利用料 １テーブル（４名様）２，６００円、１テーブル（５名様）２，８５０円 １テーブル（６名様）３，１５０円
周辺観光施設	ひき岩群（車で約１５分） ヒキガエルが天を仰いで雨乞いをしている様にみえることから、名づけられた奇岩であり、周辺には遊歩道も整備されている。 天神崎（車で３０分）

	日本初のナショナルトラスト運動で知られる岬。 奇絶峡(車で約5分) 自然の奇岩で囲まれた峡谷であり、四季の風景が楽しめる。
当駅の長所	・備長炭発祥の地として備長炭資料館、炭窯5基（内1基は黒炭用）を1年中稼働させている。 ・備長炭及び多くの備長炭関連商品を販売している。
当駅の問題点	・熊野古道人気で、来客数が減少した。 ・メイン道路に面していないので通行客〈来客数〉が少ない。 ・近隣に大規模な農産物販売所があるので、ごく限定的な農産物の直売となってしまう。 ・本年度は特に来客数が減少している。
改善策	・紀州備長炭発見館は有料であるが、無料にして備長炭のPRを強化する。 ・備長炭のほかに、道の駅としての特産物が開発できないかを検討する。 ・過疎地での住民の活性化対策を考える。 ・今後の集客対策を具体的に検討する。

NO. 11 瀬峡街道 熊野川（どろきょうかいどう くまのがわ）

登録年月日	第 1 4 回登録 平成 1 0 年 4 月 1 7 日																																			
設置者	新宮市																																			
駅長名	田中 多喜夫																																			
管理団体	熊野川町森林組合																																			
所在地	新宮市熊野川町田長 4 7																																			
路線名	国道 1 6 8 号																																			
開設時間	2 4 時間																																			
駅長の常駐	常駐している																																			
従業員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">正社員</th> <th colspan="2">パート</th> <th colspan="2">その他</th> <th colspan="2">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> 熊野林業総合センターの従業員が兼務している。				正社員		パート		その他		合 計		男性	名	男性	名	男性	名	男性	0 名	女性	名	女性	名	女性	名	女性	0 名	計	名	計	名	計	名	計	0 名
正社員		パート		その他		合 計																														
男性	名	男性	名	男性	名	男性	0 名																													
女性	名	女性	名	女性	名	女性	0 名																													
計	名	計	名	計	名	計	0 名																													
売上傾向	減少傾向																																			
売上構成	物販（1 0 0 %） レストラン（ %） その他（ %）																																			
年間来客数	把握していない																																			
定期的に開催している行事	特になし																																			
TEL	0 7 3 5—4 4—0 3 5 6	FAX	0 7 3 5—4 4—0 0 2 4																																	
地場産品販売コーナー	休館日、年中無休 営業時間 8：3 0～1 7：0 0 販売品、熊野杉わりばし、柚子酢、柚子味噌、押麦味噌、黒潮いちご																																			
駐車場	4 5 台（大型車 2 台・普通車 4 3 台）																																			
公衆電話	2 台																																			
トイレ	男性 1 0 器 女性 7 器																																			
障害者施設	トイレ 1 器 駐車場 2 台 スロープ																																			
その他施設	地域観光案内コーナー 熊野川産品加工組合が経営する軽食や季節の野菜等が買える「かあちゃんのお店」が隣に併設されている。																																			
アクセス	①阪和自動車道有田 I C から県道吉備金屋線 R 4 2 4、4 2 5 経由、県道龍神中辺路線を経て、R 3 1 1 から R 1 6 8 を新宮方面へ 3 0 分																																			

	②名古屋から4時間 ③紀勢本線新宮駅から車で30分
当駅の概要	和歌山県の東南端に位置する新宮市熊野川町は、奥深い神秘的な熊野の山々に囲まれ、その緑豊かな山あいを縫うように熊野川、その支流の赤木川、北山川が流れ、自然と歴史が一体となり、美しい景観の育まれた美しい町である。
おすすめポイント	「熊野の歴史文化の象徴熊野古道」 熊野古道は信仰の道でその重厚な歴史を守り続けてきたのは、美しくきびしい自然。景観では天下の名勝瀨峡や宝龍滝鼻白の滝などの滝が多くみられ近年カヌーのメッカとしても知られている。 「観光情報の拠点」 駅では、地場産品販売、地域観光案内コーナー、また、軽食や季節の野菜等が買える「かあちゃんの店」が並設されていて訪れる人々が楽しい休日を過ごしている。
インフォメーション	(情報コーナー) パンフレットで紹介
周辺観光施設	天下の名勝「瀨峡」(車で約10分) 志古乗船場からウォータージェット船で往復2時間。自然の芸術作品をたっぷり堪能できる。 熊野川温泉「さつき」(車で約5分) 心地よい眠りから目覚めたような気分。自然も温泉もすべてが新鮮に映える。 鼻白の滝(車で約5分) 田長谷の溪谷に2段になって流れ落ちる滝。
当駅の長所	・景色が素晴らしい。(特に熊野川や紅葉)
当駅の問題点	・施設や管理がばらばらで、道の駅らしくない。 ・食事は隣接する「母ちゃんの店」でできるが閉店時刻が早い。
改善策	・地場産品販売、地域観光案内コーナー、「かあちゃんの店」の連携を深める。 ・「かあちゃんの店」の閉店時間の延長を依頼する。

NO.12 紀の川万葉の里（きのかわまんようのさと）

登録年月日	第15回登録 平成11年8月27日				
設置者	かつらぎ町				
駅長名	山本 恵章（町長）				
管理団体	一般社団法人 道の駅紀の川万葉の里				
所在地	伊都郡かつらぎ町窪487-2				
路線名	国道24号				
開設時間	24時間				
駅長の常駐	常駐していない（理事長が常駐）				
従業員数	正社員	パート	その他	合 計	
	男性 4名	男性 名	男性 8名	男性 12名	
	女性 名	女性 25名	女性 名	女性 25名	
	計 4名	計 25名	計 8名	計 37名	
売上傾向	横ばい				
売上構成	物販（90%） レストラン（10%） その他（ %）				
年間来客数	19年度（18万人） 20年度（19,5万人） 21年度（19,5万人）				
定期的に開催 している行事 （イベント）	8月、謝恩のタベ 10月、万葉祭り（収穫祭） 12月、ふれあい餅つき大会				
TEL	0736-22-0055	FAX	0736-22-0055		
レストラン	休館日、年中無休（但し、12月31～1月3日は休館） 営業時間（冬場11～2月）8：30～17：00 （夏場3～10月）8：30～18：00 （メニュー）そば・うどん、カレー、柿の葉寿司、鮎寿司、丼物、焼き飯、 サンドウィッチ、ジュース等				
土産物売店	休館日、年中無休（但し、12月31～1月3日は休館） 営業時間（冬場11～2月）8：30～17：00 （夏場3～10月）8：30～18：00 販売品、柿など果物、花、ゴマ豆腐、野菜、こんにゃく、つけ物、串柿、あんぼ柿				
駐車場	85台（大型車14台・普通車71台）				

公衆電話	2 台
トイレ	男性 1 2 器 女性 8 器 ベビーベッド 1
障害者施設	トイレ 2 器 駐車場 3 台 スロープ
その他施設	大和街道の歴史等の展示、施設・観光案内のパンフレットの設置、情報端末による情報提供、展望デッキ、日向ぼっこ広場、歴史街道センター（道の駅に隣接した施設）
アクセス	①阪和自動車道と歌山 I C から国道 2 4 号を橋本方面へ 5 0 分 ②大阪から 2 時間 ③奈良から 1 時間 3 0 分 ④京都から 3 時間 ⑤ J R 和歌山線西笠田駅から車で 3 分
当駅の概要	かつらぎ町は和歌山県北東部に位置し、北は和泉山脈、南は紀伊山地の高野山麓にあって、町の中央には清流紀の川がゆったりと流れる自然豊かな町である。 気候は四季を通し温暖で、フルーツはパイナップル、バナナ以外はなんでも栽培され、特に栗、柿、桃、ぶどう等が盛んである。 また、平成 1 6 年 7 月に「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録が成され、本町においても「丹生郡比売神社」「町石道」「八町坂」の登録が決定され、「観光のまち」「人と人のふれあう町」を目指している。
おすすめポイント	「清流紀の川と妹山、背山、船岡山眺望、おみやげに新鮮な農産物を」 かつらぎ町への西の玄関口、道の駅「紀の川万葉の里」は万葉集に 1 5 首も詠まれた地で、南に妹山・北に背山を望む景勝の地。紀の川周辺では夏は鮎釣りやキャンプ、秋はフルーツ狩りや近くの史跡を巡りながらのハイキングなど、ゆっくりとくつろげる観光スポットになっている。 又家族連れ、グループなど多くの方々が訪れて近くの観光農園を体験したり、特産品のおみやげを買っていかれる光景が多く見られる。
インフォメーション	(歴史街道 i センター) 大和街道の歴史等の展示 (情報コーナー) 施設・観光案内のパンフレットの設置、情報端末による情報手帳 (展望デッキ) パーゴラベンチを備えた野外休憩施設。紀の川や妹山、背山、船岡山を一望
周辺観光施設	日本一串柿の里（車で 1 0 分）、華岡青洲生誕地（車で 1 0 分）、霊場高野山（車で 4 5 分）、美嶋温泉（車で 1 5 分）、公共の宿 志賀ふれあい会館（車で 2 0 分）、

	丹生都比売神社（車で２０分）、源氏ホテルの里（車で２０分）
当駅の長所	・ 地元の農産品を中心に販売し、お客に好評である。 ・ 地域の農業の活性化になっている。 ・ 販売している商品には、生産者名が記され責任の所在が明確になっている。 ・ 販売品は、すべて生産者が持ち込み、持ち帰っているので手間がかからない。 ・ 他府県からの来客数が多く、商圏が広い。
問題点	・ 商品の品質管理が統一できていない生産者がいる。 ・ 駐車場が少ない。（特に土・日・祝日は観光バスの駐車場が少ない） ・ 歴史街道 i センターや情報コーナーは国土交通省の管理になっているので、無駄なスペースが多い。（近隣の高齢者の将棋場になっている。） ・ １５時ごろになると、野菜の品切れが見られる。
改善策	・ 歴史街道 i センターや情報コーナーは「一般社団法人道の駅紀の川万葉の里」の自主管理になるよう、国土交通省と交渉し、歴史街道 i センターの空きスペースは高野街道沿いの特産品売り場に、情報コーナーは第２地元生産品売り場に転用する。 ・ 生産者と連絡を密にして、野菜の空き棚の補充を適宜行う。

NO.13 奥熊野古道ほんぐう（おくくまのこどうほんぐう）

登録年月日	第15回登録 平成11年8月27日					
設置者	田辺市					
駅長名	大谷 信吾					
管理団体	株式会社奥熊野本宮					
所在地	田辺市本宮町伏拝904-4					
路線名	国道168号					
開設時間	24時間					
駅長の常駐	常駐している					
従業員数	正社員		パート		その他	合 計
	男性 2名	男性 1名	男性 名	男性 3名		
	女性 3名	女性 3名	女性 3名	女性 9名		
	計 5名	計 4名	計 3名	計 12名		
売上傾向	減少傾向					
売上構成	物販（60%） レストラン（40%） その他（ %）					
年間来客数	19年度（12万人） 20年度（12万人） 21年度（13万人）					
定期的に開催している行事（イベント）	・1ヶ月に2回無料で、地域の住民を対象に30分クッキング教室を開催。 ・夏至、冬至に19時～21時ころまでキャンドルナイトを開催。 ・年4回4季ごとに、お客様を募り、創作会席料理「季楽」と題した夕食を3,980円で提供している。					
TEL	0735-43-0911	FAX	0735-43-0917			
食堂	休館日、年中無休 営業時間11:00～15:00 (メニュー)古道べんとう、キジ丼、麦とろ御飯、めはり寿子、うどん・そば、本宮牛乳のソフトクリーム等					
情報提供・物産販売所	休館日、年中無休 営業時間8:00～18:30 販売品、しそジュース、立ち木染め、木工品、特産加工食品、生キャラメル、世界遺産(熊野古道)関連商品等					
駐車場	52台 (大型車2台・普通車50台]					
公衆電話	1台					
トイレ	男性9器 女性7器 ベビーベッド					
障害者施設	トイレ2器 駐車場2台 スロープ					

その他施設	芝生広場・多目的広場、町の観光案内や道路情報案内
アクセス	①京都, 新大阪駅からＪＲきのくに線にて紀伊田辺駅下車、駅前から龍神バス（本宮線）で本宮町に至る。 ②京都, 新大阪駅からＪＲきのくに線にて新宮駅下車、駅前から熊野交通バスまたは奈良交通バスで本宮町に至る。 ③阪和自動車道を経由して南紀田辺ＩＣ（終点）で降り、田辺市街地を経て上富田町朝来交差点より国道３１１号に入り本宮町に至る。 ④近鉄大和八木駅から奈良交通バスで本宮町に至る。 ⑤名古屋駅からＪＲ紀勢本線にて新宮駅下車、駅前から熊野交通バスまたは奈良交通バスで本宮町に至る。 ⑥東名阪自動車道・伊勢自動車道勢和多気ＩＣ経由、国道４２号を南下。新宮市より国道１６８号で本宮町に至る。
当駅の概要	田辺市本宮町は、和歌山県の南東部に位置し北に果無山脈、南に大塔山系と平均標高４００ｍの山々に囲まれ、北東部から南東部にかけて熊野川が流れる山間の静かな町である。 ２００４年７月、紀伊山地の霊場と参詣道としてユネスコの世界文化遺産に登録された地域の核心エリアで、ほとんどの熊野古道（参詣道）は、熊野本宮へと通じている。 また、町域の一部は、吉野熊野国立公園に指定され、四季折々の自然が楽しめる。
おすすめポイント	田辺市本宮町には、熊野本宮大社、蟻の熊野詣で知られる熊野古道など、世界文化遺産として登録された史跡も多く残されており、また、河原を掘れば温泉が出る川湯温泉・西日本最大の露天風呂と、クアハウスがある渡瀬温泉・成務天皇のころに発見された日本最古の湯、湯の峰温泉の３つの温泉があり、それぞれ泉質が異なり「道の駅」を拠点に、家族で楽しい休日を過ごすことができる。
インフォメーション	（情報コーナー） 町の観光案内や道路情報案内を実施。 （芝生広場・多目的広場） 野外ステージで各種イベントが行える。眼前には熊野川が穏やかに流れ、美しい多目的広場もある。
周辺観光施設	川湯温泉・渡瀬温泉・湯の峰温泉（車でそれぞれ１０分程度） 各温泉間は、車で１０分程度の場所にあり、それぞれ違う泉質であるので１度に３種の温泉が楽しめる。 世界遺産熊野古道

	蟻の熊野詣で知られる熊野古道には、現在6カ所の王子跡があり森林浴をしながら歴史を偲ぶことができる。（「道の駅」施設内には熊野古道の展示コーナーがある。） 熊野本宮大社（車で約5分） 熊野三山のひとつ熊野本宮大社は、第十代崇神天皇65年に社殿が創建されたといわれ、主権神はスサノオノミコト。明治22年の大洪水で流出を逃れた上四殿が現在の地に移されたものである。熊野信仰の中心の一つである。
当駅の長所	・景色がすばらしい。 ・紀州杉をふんだんに使用した建物が立派である。 ・食堂では、仕出しや団体食に対応できる。 ・独自製造販売の生キャラメル、おやき、酒饅頭、ブリュレなどが好評である。
当駅の 問題点	・国道168号沿いのため、少し多めの雨が降ると土砂災害で道路がストップする。 ・奈良県が雪や凍結などの時は来客数が極端に少なくなる。 ・指定管理者期間があと1年である。 ・2～3年後に新しい国道168号が完成するので、当駅の前の通行車両数は確実に減少する。 ・現状のままで営業しても利益計上が見込みにくいため、将来的に不安である。 ・売上増加策もなかなか見つからない。 ・食堂は15時に閉店する。 ・町全体が過疎化になっているので、地元の顧客が減少している。 ・地元住民の高齢化が進み、産地の野菜の搬入が少なくなった。
改善策	・旅行者会社等とのタイアップにより、観光客の誘致を図る。 ・食堂の閉店時刻を延長し、売上増加策を図る。

NO.14 おくとろ

登録年月日	第15回登録 平成11年8月27日				
設置者	北山村				
駅長名	奥田 貢 (村長)				
管理団体	北山村				
所在地	東牟婁郡北山村下尾井335				
路線名	国道169号				
開設時間	24時間				
駅長の常駐	常駐していない				
従業員数	正社員		パート	その他	合 計
	男性 5名	男性 名	男性 名	男性 5名	
	女性 5名	女性 1名	女性 名	女性 6名	
	計 10名	計 1名	計 名	計 11名	
	従業員数は北山村観光課の職員を含む				
売上傾向	増加傾向				
売上構成	物販 (100%) レストラン (%) その他 (%)				
年間来客数	19年度 (7万人) 20年度 (7万人) 21年度 (7万人)				
定期的に開催している行事	特に実施していない。				
TEL	0735—49—2324	FAX	0735—49—2317		
レストラン (ヤマナミ)	企業に委託、休館日、年中無休 営業時間9:00～17:00 (メニュー)各種定食、うどん、丼物、カレーライス等				
特産品販売	休館日、年中無休 営業時間9:00～21:00 販売品、じゃばら製品 (ドリンク、ぼんず、ワイン等)、木工製品等				
駐車場	125台 (大型車18台・普通車107台)				
公衆電話	2台				
トイレ	男性34器 女性20器				
障害者施設	トイレ3器 駐車場2台 スロープ				
その他施設	温泉施設、宿泊施設 (バンガロー及びコテージ)、公園、文化施設 (縄文時代の遺物を展示)、オートキャンプ場				
当駅へのアクセス	①西名阪郡山ICから国道24号→国道169号を経て3時間				

セス	②田辺・白浜方面からは、国道42号から国道311号―国道168号、熊野川町宮井から国道169号を経て2時間 ③大阪から3時間30分 ④名古屋から3時間30分
当駅の概要	「吉野熊野国立公園にオープン」 北山村は、和歌山県の東端に位置し、大台ヶ原を源とする北山川を境として、南は三重県熊野市と紀和町に、北は奈良県下北山村、西は十津川村に隣接した全国唯一の飛び地の村である。
おすすめポイント	「秘境奥瀬の自然を満喫、北山村の情報発信基地」 「道の駅おくところ」は美しい森林浴とダム湖水が見渡せる位置にあり、アウトドアやスポーツ、温泉施設、宿泊施設等北山村をまるごと楽しめるすべての要素が集まっている。 山間のドライブ途中の休憩所や観光の情報発信基地として、憩いの時を過ごす壮大なサービスエリアである。
インフォメーション	(宿泊施設) バンガロー7棟(7,350円～)及びコテージ9棟(25,000円～) (温泉施設、レストラン併設) 大浴場と露天風呂でゆったりと開放感を満喫できる。また、サウナも利用できる。温泉施設は、北山村ふるさと振興公社も出資している別組織である。 (公園) ゆったり広々とした芝生でのんびりできる。 (文化施設) 縄文時代の遺物を展示していて、昔の奥ゆかしさを伺うことができる。 (オートキャンプ場) 18サイトを整備、1サイト2,100円+ (人×525円)
当駅の長所	・5月3日～9月最終の日曜日まで、観光筏下りの受付場所になっている。(年間約5,000人) ・北山村特産のじゃばら製品が購入できる。
当駅の問題点	・山の中の道の駅のため交通量が少ない。 ・冬場の来客数が少ない。 ・特売品販売所が狭い。 ・地場の野菜等を販売していない。
改善策	・天候の関係で、冬場の来客数は少ないので、夏場の来客数増加策に力を入れる。 ・過疎地の不便さを逆手にとって、都会の喧騒から逃れた良さをPRする。

NO. 15 水の郷日高川 龍游（みずのさとひだかがわ りゅうゆう）

登録年月日	第15回登録 平成11年8月27日				
設置者	田辺市				
駅長名	栗原 秀嘉				
管理団体	龍神村森林組合				
所在地	田辺市龍神村福井511				
路線名	国道424号				
開設時間	24時間				
駅長の常駐	常駐していない				
従業員数	正社員	パート	その他	合 計	
	男性 名	男性 1名	男性 名	男性 1名	
	女性 名	女性 5名	女性 名	女性 5名	
	計 名	計 6名	計 名	計 6名	
売上傾向	減少傾向				
売上構成	物販（65%） レストラン（35%） その他（ %）				
年間来客数	19年度（0.8万人） 20年度（0.7万人） 21年度（0.5万人）				
定期的に開催 している行事	特になし				
TEL	0739—77—0380	FAX	0739—77—0380		
食堂 龍游館	休館日、年中無休（但し、12月29～1月1日は休館） 営業時間9：00～16：00 （メニュー）猪焼肉定食、鹿焼肉定食、あまご空揚げ定食、丼物、麺類				
物産館	休館日、年中無休（但し、12月29～1月1日は休館） 営業時間9：00～17：00 販売品、龍神のこんにゃく、山菜加工品、柚べし、梅加工品、その他木工品、 龍神の物産品				
駐車場	44台（大型車2台・普通車42台）				
公衆電話	1台				
トイレ	男性7器 女性5器 ベビーベッド				
障害者施設	トイレ1器 駐車場2台				
その他施設	木工館、カヌー・ゴムホート貸出し、情報コーナー				

アクセス	① 阪和自動車道有田 I C から県道吉備金屋線経由、国道 424 号を龍神温泉方面へ 約 60 分（大阪から 2 時間 30 分） ② J R 紀伊田辺駅から 50 分
当駅の概要	「龍が戯れる水の郷」 道の駅「水の郷日高川 龍游」は清流日高川の中流域に位置し、目の前に水辺サイトが広がる。エリア内には木工館（定休日：水曜）、喫茶、物産販売所、休憩所、トイレ、情報コーナー等盛りだくさん。
おすすめポイント	「鍋坂ダムの静水でゆったりと」 すぐ目の前が日高川でしかも小さなダム湖でのんびりとカヌーやボートを漕ぐのにはピッタリである。 ここから日本三美人の湯龍神温泉までは、2.4 Km、約 30 分です。水辺で心を癒したあとはぜひ温泉へ。
インフォメーション	カヌー・ゴムホート貸出し 営業時間 10:00～17:00（4 月末～10 月末） 料金 3 時間以内 1,000 円、問合せ 0739(77)0785
周辺観光施設	日本三美人の湯・龍神温泉元湯（車で約 30 分）
当駅の長所	・都会では経験できない自然に恵まれている。
当駅の問題点	・高速道路が田辺まで開通したので、金屋からしらまを通って竜神温泉に行く観光客が減少した。 ・食堂龍游館はセルフサービスにしては、値段が高い。 ・同一施設内に個人経営の飲食施設（こすげ茶屋とラーメン店）があり、食堂龍游館の客が少なくなっている。
改善策	・より強力な P R を検討し、来客数の増加を図る。 ・食堂龍游館の制度の見直しをする。特に「こすげ茶屋」との差別化を図る。

NO. 16 明恵ふるさと館（みょうえふるさとかん）

登録年月日	第17回登録 平成13年8月21日																																				
設置者	有田川町																																				
駅長名	中山 正隆（町長）																																				
管理団体	有田川町																																				
所在地	有田郡有田川町金屋322-1																																				
路線名	国道480号																																				
開設時間	24時間																																				
駅長の常駐	常駐していない																																				
従業員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">正社員</th> <th colspan="2">パート</th> <th colspan="2">その他</th> <th colspan="2">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>2名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>8名</td> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10名</td> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>					正社員		パート		その他		合 計		男性	2名	男性	名	男性	名	男性	2名	女性	8名	女性	名	女性	名	女性	8名	計	10名	計	名	計	名	計	10名
正社員		パート		その他		合 計																															
男性	2名	男性	名	男性	名	男性	2名																														
女性	8名	女性	名	女性	名	女性	8名																														
計	10名	計	名	計	名	計	10名																														
売上傾向	増加傾向																																				
売上構成	物販（75%） 喫茶（25%） その他（ %）																																				
年間来客数	19年度（ 6万人） 20年度（ 6.2万人） 21年度（ 6.5万人）																																				
定期的に開催 している行事 （イベント）	8月に創業祭を実施。 秋に収穫祭を実施。																																				
TEL	0737-32-9778	FAX	0737-32-9788																																		
喫茶	休館日、年中無休（年末年始を除く） 営業時間（4月下旬～10月上旬）9：00～18：30 （10月上旬～4月下旬）9：00～18：00 （メニュー）うどんなど、おすすめはボリューム満点自家製サンドウィッチ																																				
物産販売所	定休日・年中無休（年末年始を除く） 営業時間（4月下旬～10月上旬）9：00～18：30 （10月上旬～4月下旬）9：00～18：00 販売品、地元の旬の野菜、四季の果実、天然酵母のパン、 地元新鮮野菜を使った平天																																				
駐車場	31台（大型車1台・普通車30台）																																				
公衆電話	1台																																				

トイレ	男性3器 女性4器 ベビーベッド
障害者施設	トイレ1器 駐車場1台
その他施設	食品加工所
アクセス	阪和自動車道有田ICより県道22号・国道480号を経由約15分
当駅の概要	地域内の豊富にある新鮮な農林水産物を有効利用するため、食品加工所を備えた直売所を中心に様々な農業振興の波及効果を目指すとともに、観光や都市住民の交流の拠点としての役割を果たしている。
おすすめポイント	地元の旬の野菜や、四季の果実、特製の天然酵母パンなどを販売している。
周辺観光施設	観光ぶどう園(車で10分)、県立自然公園生石高原(車で30分)、有田川町金屋テニス公園(車で5分)、かなや明恵峡温泉(車で8分)、明恵の里スポーツ公園(車で1分)
当駅の長所	・自店で製造しているで天然酵母のパンや地元新鮮野菜を使った平天が好評である。
当駅の問題点	・店舗が狭いので農産物の販売スペースが少ない。 ・繁忙時の駐車スペースが少ない。 ・パンを自店で製造しているが、現在は担当職員が1人であり、休暇を取るとパンの製造が中止になる。 ・午前10時に「本日のランチ好評に尽き終了」との掲示があった。たぶん前日の掲示をそのままにしておいたものであろうが、管理が行き届いていない。 ・情報発信コーナーが充実されていない。 ・駅名として拝命している「明恵上人」について、何もインフォメーションが無い。
改善策	・早急に人員補充を行いたい、人件費や勤務時間の関係でまだ現状のままである。 ・1人が多くの仕事ができるような多能工化を図る。 ・店長は常駐していないが、店長〈仮称〉を決め管理体制を確立する。

NO.17 根来桜の里（ねごろさくらのさと）

登録年月日	第18回登録 平成14年8月13日					
設置者	岩出市					
駅長名	中芝 正幸（町長）					
管理団体	紀の里農業協同組合					
所在地	岩出市押川37-1					
路線名	主要地方道 泉佐野岩出線					
開設時間	24時間					
駅長の常駐	常駐していない（店長が常駐）					
従業員数	正社員		パート		その他	合 計
	男性 2名	男性 名	男性 3名		男性 5名	
	女性 名	女性 5名	女性 名		女性 5名	
	計 2名	計 5名	計 名		計 10名	
売上傾向	減少傾向					
売上構成	物販（100%） レストラン（ %） その他（ %）					
年間来客数	19年度（17万人） 20年度（16万人） 21年度（16万人）					
定期的に開催している行事	4月第1度・日曜日に周年祭り					
TEL	0736—69—0210		FAX	0736—69—0216		
レストラン	無料休憩コーナーで軽食（うどん、そば、カレー等） 地元、押川地区の人に委託					
農産物・特産物販売所	休館日、毎週火曜日、年末年始、盆 営業時間（4月～9月）9：00～18：00、 （10月～3月）9：00～17：00 販売品、地場産品の野菜、果物、花等					
駐車場	56台（大型車4台・普通車50台、身体障害者用2大）					
公衆電話	1台					
トイレ	男性10器 女性8器 ベビーベッド					
障害者施設	トイレ1器 駐車場2台					
その他施設	施設・観光案内のパンフレットの設置					
当駅へのアクセス	①阪和自動車道泉南ICから県道泉佐野岩出線を岩出方面へ15分					

セス	② J R 和歌山線岩出駅から車で 1 5 分 ③ J R 阪和線和泉砂川駅から車で 1 5 分
当駅の概要	道の駅「根来さくらの里」は和歌山県北部、大阪府との府県境に位置し周辺には緑豊かな自然環境が広がる。ここから根来衆で名を馳せた総本山根来寺までは 4 Km、約 5 分である。
おすすめポイント	(物販コーナー) 農産物・特産物販売所
インフォメーション	(情報コーナー) 施設・観光案内のパンフレットの設置
周辺観光施設	和歌山県植物公園緑花センター (車で 5 分) 四季の花々が色とりどりに楽しめるパノラマ花壇や熱帯、亜熱帯の色彩豊かな観葉植物の温室等、花と緑いっぱい自然の美しさが楽しめる憩いの場所である。 紀泉わいわい村 (車で 3 分) 豊かな自然の中で農作業や森づくりを行い、里山の生活を体験することができる場所である。 新義真言宗総本山根来寺 (車で 5 分) 国内最大規模の多宝塔 (国宝) 等があり、周囲は総て峯でかこまれた浄域で、四季の変化に富み、特に桜、青葉、紅葉の季節は格別の趣が楽しめる。
当駅の長所	・安心・安全な農産物・加工品等の販売を行っている。 ・地場農産物の振興を図っている。 ・農産物は地元農家からの持ち込みもあるが、同じ J A 紀の里が経営する「めつけもん広場」との共同仕入れもできるので、安価に仕入れができる。 ・シルバー人材センターから高齢者を雇用し、高齢者雇用に貢献している。
当駅の問題点	・大阪方面から入る車と、和歌山方面に出る車専用の信号がないので危険である。 ・泉南地区に競合店ができ、売上高は減少傾向である。
改善策	・車の出入りに危険を感じる点は、歩行者専用の信号機を設置し足り、ガードマンを配置して解消する。 ・競合店対策としては、共同仕入れを増やして販売単価の下げの努力をしている。

NO.18 あらぎの里（あらぎのさと）

登録年月日	第28回登録 平成20年8月8日					
設置者	有田川町					
駅長名	保江 厚子					
管理団体	有田川町					
所在地	有田郡有田川町三田664-1					
路線名	国道480号					
開設時間	24時間					
駅長の常駐	常駐している					
従業員数	正社員		パート		その他	合 計
	男性 名	男性 名	男性 名	男性 名	男性 名	
	女性 4名	女性 8名	女性 名	女性 名	女性 12名	
	計 4名	計 8名	計 名	計 名	計 12名	
売上傾向	増加傾向					
売上構成	物販（65%） レストラン（17%） その他（18%）					
年間来客数	19年度（2,9万人） 20年度（3,1万人） 21年度（3,6万人）					
定期的に開催している行事	・5月のゴールデンウィーク中になんらかのイベント開催。 ・毎年9月4日にあらぎ島キャンドルナイトイルミネーションを開催。					
TEL	0737-25-0088	FAX	0737-25-0078			
郷土料理飲食コーナー	休館日、毎週火曜日 営業時間（3月～10月）10:00～18:00 （11月～2月）10:00～17:00 （メニュー）こんにゃく入りうどん、あらぎ定食、韃靼蕎麦（定食）					
農林産物加工直売所	定休日・火曜日 営業時間（3月～10月）10:00～18:00 （11月～2月）10:00～17:00 販売品、手作りのあらぎ豆腐とこんにゃく、各種農産物					
駐車場	25台（大型車0台・普通車25台）					
公衆電話	1台					
トイレ	男性5器 女性3器					
障害者施設	トイレ1器 駐車場2台					
その他施設	豆腐作り体験(要予約)					
アクセス	① 阪和自動車道有田ICから県道吉備金屋線経由国道480号を高野山方面へ5					

	0分（大阪から1時間20分） ②JR紀勢本線藤並駅から車で50分 ③道の駅「明恵ふるさと館」から車で30分（25km）
当駅の概要	「きらめき ひろがる 有田川」 有田川町は、空海が高野山を開創した時代に、町全域を東から西に流れる有田川沿いの高野有田街道が開かれたことをはじまりとし、農林業を中心として栄えた地域である。 「道の駅・あらぎの里」は有田川町のシンボルとも言える、日本の棚田百選に選ばれた「あらぎ島」の近くにある。 周辺には、しみず温泉や各種宿泊施設、高野龍神スカイラインや見事な原始林が残る高野龍神国定公園などの景勝地の他、文化財、史跡なども数多くある。
おすすめポイント	農林産物加工直売所 あらぎの里では、手作りのあらぎ豆腐とこんにゃくをはじめ、様々な農産物を展示・販売している。 また、豆腐作り体験（要予約）により、豆腐、豆乳、おから、おぼろ豆腐なども味わうことができる。 こんにゃくを練り込んだうどんや、地元食材を使用した「特選あらぎ定食」など、飲食コーナーも充実している。
インフォメーション	（情報コーナー）道路情報、観光情報等を提供
周辺観光施設	あらぎ島（約1km） 扇状の形をした有田川町の顔ともいえる棚田。一度は見てみる価値のある素晴らしい景色である。 しみず温泉健康館（約3km） 槇づくりの湯船から有田川の清流を眼下に眺め、せせらぎの音、野鳥のさえずりを聞きながら天然温泉を心ゆくまで味わえる。 古民家の宿「弥助」「左太夫」（約3km） 土蔵のある素朴な民家をそのままにした宿泊施設。まるで田舎のおばあちゃんの家遊びにきたような懐かしさに浸れる民宿である。
当駅の長所	・国道480号沿いに位置し、棚田百選の一つ「あらぎ島」に近い。 ・当駅の方針（コンセプト）として、生産販売品、食材については地元産を使用することを徹底しているため、商品やメニューが品切れするときもあるが、逆に希少価

	値として功を奏している。 ・女性のみで営業しているため、接客等の対応がやわらかいと評判がよい。
当駅の 問題点	・農林産物加工直売所や郷土料理飲食コーナーのスペースが狭い。 ・バリアフリーできていない。 ・生産者が納品するスペースが取られていないので、来客と混同することが多い。 ・生産販売品、食材については地元産を使用することをコンセプトとしているが、生産者の高齢化が進み集配作業をしなければ商品が集まらず、その集配作業に労力を要する。 ・冬季は立地的に冷え込み、来店客が減少する。 ・トイレの設備は貧弱で少々匂いが気になる。 ・食事の味付けが全般的に濃い感じである。
改善策	・できれば出品者が納入する体制を取ればいいが、高齢化で無理ならば、元気なシルバー人材を採算ベースを考えて採用する。 ・障害者にも優しいバリアフリー化を考える。 ・近隣の道の駅「清水」との差別化を図る。

NO.19 一枚岩（いちまいいわ）

登録年月日	第30回登録 平成21年3月12日																																				
設置者	古座川町																																				
駅長名	武田 丈夫（町長）																																				
管理団体	有限責任事業組合古座川街道やどやの会																																				
所在地	東牟婁郡古座川町相瀬290-2																																				
路線名	国道371号																																				
開設時間	24時間																																				
駅長の常駐	常駐していない																																				
従業員数	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">正社員</td> <td colspan="2">パート</td> <td colspan="2">その他</td> <td colspan="2">合 計</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> <td>男性</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>8名</td> <td>女性</td> <td>名</td> <td>女性</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>8名</td> <td>計</td> <td>名</td> <td>計</td> <td>8名</td> </tr> </table>					正社員		パート		その他		合 計		男性	名	男性	名	男性	名	男性	名	女性	名	女性	8名	女性	名	女性	8名	計	名	計	8名	計	名	計	8名
正社員		パート		その他		合 計																															
男性	名	男性	名	男性	名	男性	名																														
女性	名	女性	8名	女性	名	女性	8名																														
計	名	計	8名	計	名	計	8名																														
売上傾向	横ばい																																				
売上構成	物販（50%） レストラン（50%） その他（ %）																																				
年間来客数	19年度（ 2万人） 20年度（ 2万人） 21年度（ 2万人）																																				
定期的に開催している行事	4，5，9月に一枚岩周辺ウォークイベントを実施。																																				
TEL	0735-78-0244		FAX	0735-78-0244																																	
レストラン （一枚岩鹿鳴館）	休館日、年中無休 営業時間9:00～17:00 （メニュー）おすすめメニュー、うずみ膳、紀州茶がゆ、自家焙煎コーヒー、 地産地消にこだわった郷土料理など ＊鹿鳴館は、詩経の「小雅鹿鳴」の詩、迎客接待の意から命名された。																																				
物産販売コーナー（一枚岩鹿鳴館）	休館日、年中無休 営業時間9:00～17:00 販売品、特産の柚子製品など古座川流域周辺の産品に限定して販売、 手作りの味が楽しめる地元のお菓子やさんコーナー、 一枚岩鹿鳴館オリジナル商品																																				
駐車場	20台（大型車0台・普通車20台）																																				
公衆電話	1台																																				
トイレ	男性6器 女性4器																																				

障害者施設	トイレ1器 駐車場2台
その他施設	透明度が高い古座川で、川遊び、キャンプ、カヌーも楽しめ、大自然を満喫することができる。
アクセス	① 近畿自動車道南紀田辺ICから国道42号経由国道371号を北上し約20分（大阪から3時間30分） ② JRきのくに線古座駅から車で20分 ③ 道の駅「イノブータンランド・すさみ」から車で50分（36Km）
当駅の概要	古座川町は、紀伊半島南方の山間部に位置し、清流古座川とそれを守るかのように取り囲む緑豊かな森林の町である。 道の駅「一枚岩」の前には、清流古座川を挟んで国指定天然記念物一枚岩が悠然とそびえ立ち、高さ100m幅500mの一枚の巨岩は訪れる人を驚嘆させている。また、古座川は透明度が高く、川遊びはもちろん、キャンプやカヌーも楽しめ、大自然を満喫することができる。 施設内では一枚岩のパノラマ風景を楽しみながら、自家焙煎コーヒーをはじめ、地産地消にこだわった郷土料理が味わえる。
おすすめポイント	観光物産センター（一枚岩鹿鳴館） 一枚岩鹿鳴館では、地元産木材をふんだんに使用した落ち着いた店内で一枚岩のパノラマ風景を楽しみながら、香り高い自家焙煎コーヒーをはじめ、「うずみ膳」、「茶がゆ膳」など地産地消にこだわった郷土料理が味わえる。 物産販売コーナーでは、特産のユズ製品など古座川流域周辺の産品に限定して販売。手作りの味が楽しめる地元のお菓子やさんコーナーや、一枚岩鹿鳴館オリジナル商品も随時店頭にある。
インフォメーション	（情報コーナー）道路情報、観光情報等を提供
周辺観光施設	虫喰岩（約10km） 古座川町池野山地内にある虫喰岩は、石英粗面岩の巨岩が風雨に浸食されて、その壁面が大小さまざまな無数の穴が蜂の巣のようにできている。穴のあいた小石に糸を通して願掛けをすると耳の病が治るとの古くからの言い伝えがある。 七川ダム（約8km） 3,000本のソメイヨシノが植えられた七川ダム湖畔では、毎年3月～4月に桜祭りが開催され、地域住民と多くの観光客が訪れる。
当駅の長所	・ 自然と景観に優れた古座川沿いに立地している。

当駅の 問題点	・ 国道 4 2 号線から奥地に入り込んでいるので、集客（特に閑散期）に難がある。
改善策	・ 平日と閑散期の来客数をどのようにして増加させるか。 ・ 各種イベントを頻繁に実施する。

NO. 20 白崎海洋公園（しらさきかいようこうえん）

登録年月日	第32回登録 平成21年7月31日							
設置者	由良町							
駅長名	畑中 雅央（町長）							
管理団体	財団法人由良町観光公社							
所在地	日高郡由良町大引 960—1							
路線名	主要地方道 御坊由良線							
開設時間	24時間							
駅長の常駐	常駐していない							
従業員数	正社員		パート		その他	合 計		
	男性	4名	男性	名	男性	名	男性	4名
	女性	1名	女性	名	女性	名	女性	1名
	計	5名	計	名	計	名	計	5名
売上傾向	横ばい							
売上構成	物販（ 2%） ダイビング（76%） オートキャンプ（ 4%） ログハウス（10%） コンテナハウス（ 2%）							
年間来客数	19年度（ 8万人） 20年度（10万人） 21年度（ 9万人）							
定期的に開催している行事	特になし							
TEL	0738—65—0125		FAX	0738—65—0909				
カフェアンドレストラン「白い岬」（民間委託）	休館日、毎週水曜日 営業時間10：30～17：00（冬期11：00～16：30） （メニュー）魚の定食ほか各種定食、牛丼、カレー、うどん、ソフトドリンク、アルコール							
パークセンター（観光物産センター「白い岬」）	休館日、年中無休（但し、10月～3月は木曜日閉館） 営業時間（4月～9月）9：00～18：00 （10月～3月）9：00～17：00（） 販売品、朝水揚げ鮮魚、地元の野菜、地元特産品の販売							
駐車場	195台（大型車3台、普通車188台）							

公衆電話	1 台
トイレ	男性 20 器 女性 13 器
障害者施設	トイレ 4 器 駐車場 4 台
その他施設	スキューバダイビング・オートキャンプ場・貝の展示館・展望台・遊歩道等
アクセス	①「阪・和歌山方面からは、阪和自動車道及び湯浅御坊道路を利用し、広川インターで降り、国道 42 号を約 15 分南下し、里交差点を右折し、約 15 分。 ② JR 紀勢本線紀伊由良駅から、車で 15 分。
当駅の概要	当施設は、国道 42 号から西約 7 km に位置し、海岸線を走る主要地方道御坊由良線に面した施設で、スキューバダイビング・オートキャンプ場・貝の展示館・展望台・土産物売店・レストラン・遊歩道等の様々な施設を併設している。ダイバー、キャンパーはもちろん、一般の観光客でも楽しくゆっくりくつろげる施設である。また、周辺が白い石灰岩で囲まれていて、青い海と氷山のような白い岩のコントラストが美しく絶好のロケーションである。また、毎年 5 月から 7 月ごろにはうみねこの大群が公園全体に飛来することでも有名である。 古くは万葉の詩にも詠まれ、2009 年には『平成百景』にも選ばれている。
おすすめポイント	当施設は、白崎海洋公園の中にあり、白い石灰岩と青い海のコントラストから「日本のエーゲ海」とも呼ばれており、有名なダイビングスポットでもある。更に、施設内に滞在施設としてログハウスやオートキャンプ場を併設している。ダイビングとキャンプの両方が一度に楽しめるので、ひと味違ったダイビング旅行がしたい方にもお勧めである。
インフォメーション	(情報コーナー) 道路情報、観光情報等を提供
周辺観光施設	戸津井鍾乳洞 (約 5 km) 延長 100m の鍾乳洞で、ペルム紀 (2 億 5 千年以上前) の石灰洞穴である。見所は「針天井の間」と名付けられた場所で、数センチの鍾乳石が低い天井に星のごとく輝いている。洞穴の温度は、年間約 15 度と平均しているので、快適な地底が楽しめる。 海釣り公園 (約 5 km) 由良海釣り公園は、ご家族連れ、ビギナー向けとして安心して釣りが楽しめる公園である。魚種も豊富で、年間を通じて多くの人で賑わっている。 興国寺 (約 9 km) 興国寺は、通称「開山」とも呼ばれ、鎌倉三代将軍源実朝の菩提を弔うため、家臣の葛山五郎景倫が建てたものである。「普化尺八」の本寺として有名であり、住職の法燈国師が中国で習得してきたという「径 (金) 山寺味噌」「醤油」のわが国発祥の地でもある。

当駅の長所	・ 青い海と氷山のような白い岩のコントラストが美しく絶好のロケーションである。
問題点	・ 海の近いので普段から風が強く、台風時には近づけない。 ・ スキューバーダイビング客や観光客が多いのに、レストランや観光物産センターの閉店時間が早い。 ・ 由良町は、人口が少なく地元の利用者が少なく、道路(県道)の整備も遅れている。
改善策	・ カフェアンドレストランやパークセンターは民間委託なので、改善を強制できにくいですが、話し合いを持って改善に協力していただく。

NO. 21 椿はなの湯（つばきはなのゆ）

登録年月日	第33回登録 平成22年3月1日							
設置者	白浜町							
駅長名	水本 雄三							
管理団体	社団法人地方公務員共済 組合協議会							
所在地	西牟婁郡白浜町椿 1058-1							
路線名	国道42号							
開設時間	24時間							
駅長の常駐	常駐していない							
従業員数	正社員		パート		その他	合 計		
	男性	2名	男性	名	男性	名	男性	2
	女性	名	女性	1名	女性	名	女性	1
	計	2名	計	1名	計	名	計	3
売上傾向	平成22年4月にオープンしたので売上傾向は不明。							
売上構成	物販（ %） レストラン（ %） その他（100%）							
年間来客数	平成22年4月にオープンしたので年間来客数は不明。							
定期的に開催 している行事	特になし							
TEL	0739—46—0617		FAX	0739—46—0617				
軽食コーナー （民間委託）	休館日、毎週火曜日、祝日と重なった場合は、その翌日 営業時間、9:00～21:00（11月～2月は20:00まで） （メニュー）軽食							
展示販売所 （民間委託）	休館日、毎週火曜日、祝日と重なった場合は、その翌日 営業時間、9:00～21:00（11月～2月は20:00まで） 販売品、地元特産品の販売、ドリンク類の販売							
駐車場	17台（大型車 2台・普通車 15台）							
公衆電話	1台							
トイレ	男性5器 女性4器							
障害者施設	トイレ1器 、駐車場2台							
アクセス	① 大阪・和歌山方面からは、阪和自動車道を利用し、南紀田辺ICで降り、国道4							

	2号を約30分南下。 ②JR紀勢本線椿駅から、車で3分。
当駅の概要	当該施設は世界遺産熊野古道（大辺路）を訪れた多くの旅人を癒してきた良質な天然温泉が湧出しており、古くから湯治場として栄えてきた。 当該道の駅は、紀伊半島を半周する国道42号に位置しており、この良質な温泉を源泉かけ流しで堪能できる公衆浴場と足湯を備え、建物は地場木材である紀州杉にて整備されている。また、当駅は、公衆浴場と足湯以外にも椿温泉観光総合案内や地域特産品の販売も行い、地域住民と来訪者が共に集い交流できる施設である。
おすすめポイント	椿はなの湯 営業時間、12:00～21:00（11月～2月は20時まで） 入浴料、中学生以上500円、小学生250円、家族風呂は2000円（50分）。 足湯〈無料〉 営業時間、9月～6月 10:00～17:00 7月～8月 10:00～19:00
インフォメーション	（情報コーナー）道路情報、観光情報等を提供
周辺観光施設	白良浜（約17km） 白浜の名の由来にもなった延長640mに渡る白砂の海岸。毎年約60万人が訪れる関西屈指のこの美しいビーチは「日本の快水浴場百選」にも選ばれており、白砂と青松のコントラストが目にあざやかである。ハワイのワイキキビーチと姉妹浜提携を結んでいる。 世界遺産熊野大辺路街道（富田坂、仏坂）（富田坂まで約7km） 熊野古道大辺路街道は、紀伊半島の海沿いに開かれた熊野参詣道である。白浜町内では白浜の富田から日置川に抜ける富田坂と日置川の安居からすさみ町に抜ける仏坂が世界遺産登録されている。 日置川（約9km） 日置川は、熊野山岳地帯に水源を持つ清流で、アユなど溪流魚の豊富さは県下である。地元団体の「大好き日置川の会」が小中高生向けの体験旅行を受け入れており、日置川を利用したカヌー体験などを行っている。 椿の森（椿西国三十三ヶ所）（約200m） 西国三十三ヶ所にちなんだ霊験あらたかな33体の石仏を安置した約1.5kmの散策路「椿西国三十三ヶ所巡り」。この周辺は平成21年より(株)資生堂が「企業の

	森」事業を活用し、椿を植林して森林保全する活動に取り組み、「椿の森」が造成されている。
当駅の長所	・かけ流しの温泉がメインになっている。 ・無料の足湯でくつろげる。
当駅の 問題点	・軽食コーナーと展示販売所はテナントであり、メニューや販売アイテムが少ない。
改善策	・軽食コーナーや展示販売所は民間委託になっているので、改善を強制できにくいですが、話し合いを持って改善に協力していただく。

第4章 和歌山県内「道の駅」の活性化に向けた提言

今回、平成22年10月末現在オープンされている和歌山県内21カ所の道の駅に対して、資料調査、アンケート調査を実施したうえで現地訪問調査を実施した。

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設として「道の駅」が誕生したが、これらの機能を十分に発揮するためには地場産品等や飲食の販売による売上高から生じる利益の確保が重要である。

しかし、各道の駅の売上高傾向をみると「増加」は5駅（24%）と少なく、「横ばい」は5駅（24%）、「減少」は11駅（52%）であり、減少している道の駅の具体的な意見は次のとおりである。

- ・来店客数が減少した。
- ・売上は減少傾向である。
- ・来客数の繁閑の差が激しい。
- ・集落から離れているので地元客が少ない。
- ・町全体が過疎化になっているので、地元の顧客が減少している。
- ・近隣に大規模なドライブインができ売上が減少した。
- ・近隣に大規模な農産物販売所があるので、ごく限定的な農産物の直売となってしまう。
- ・近くに競合店ができ、売上高は減少傾向である。
- ・冬季は立地的に冷え込み、来店客が減少する。
- ・売上増加策もなかなか見つからない。

各道の駅とも売上増加策を考えているが、なかなか効果のある改善策がみあたらないのが現状のようである。

そこで、この章では第3章でみてきた各道の駅調査結果をもとに、全体的な視点から県下の道の駅の現状と課題の整理を行い、今後の方向性を踏まえながら活性化に向けた提言を行うことにする。

1 マネージメント

道の駅の地域側施設の設置者は市町村または市町村に代わり得る公的な団体でなければならないが、和歌山県の道の駅の管理団体は市町村が8駅（38%）、その他が13駅（62%）であり、市町村長が駅長をしている駅が12駅（57%）、その他が駅長をしている駅が9駅（43%）である。

また駅長が常駐している道の駅が8駅（38%）、代行者を定めている道の駅が2駅（10%）、駅長が常駐していない道の駅11が駅（52%）である。

各駅ともマネージメントがしっかりしている駅が少ないので次のようなマネージメント上の問題が発生している。

(1) 具体的な問題点

- ① 利益の確保策が考えられていない。
- ② 販売員の来客に対する対応に問題がある。
- ③ 店員が高齢化している。
- ④ 午前10時に「本日のランチ好評に尽き終了」との掲示があった。たぶん前日の掲示をそのままにしておいたものであろうが、管理が行き届いていない。
- ⑤ パンを自店で製造しているが、現在は担当職員が1人であり、休暇を取るとパンの製造が中止になる。

(2) 改善策の提言

① 経営指針の作成

道の駅も一つの企業と考え、道の駅の責任者がリーダーシップを発揮して、責任者と従業員が一体感を保ちながら道の駅の発展という共通意識をもつために、経営指針を作成する。経営指針は、経営理念、経営方針、経営計画の3項目で構成される。

経営理念とは、道の駅の目的とは何かを考え、経営に当たっての根本的な考えを明示するものである。経営理念には、「科学性」「人間性」「社会性」が含まれていなければならない。

たとえば、「××××××を通して地域文化の向上に貢献する」「責任者、従業員ともにより優れた生活水準を目指す」というような文章で表す。

経営方針とは、この経営理念に基づいて、経営の基本的な方向を確立したものであり、未来を切り開く目標とそれを達成するための戦略を明らかにしたものである。

経営計画とは、設定された目標と戦略に基づき、それを達成するための手段、方策、手順を具体的ににしたものであり、最終的には具体的な数字の入った3カ年計画を作成し、さらに1年の計画に落とし込んでいく。

経営計画については毎月定期的の実績と計画の比較をし、それに基づいて道の駅発展の方向に軌道修正をすることが大切である。いわゆる、P(計画を立てる)⇒D(実行する)⇒C(計画と実績の差額をチェックしてどこに問題があったのかを探る)⇒A(問題点を解決すべく次の新しいアクションをおこす)のサイクルの繰り返しである。

経営指針作成によって次の効果が期待される。

- 1) 経営理念の策定によって、
 - a. 責任者の生きる姿勢が確立できる。
 - b. 道の駅の社会的存在意義が明らかになる。
 - c. 責任者と従業員の共通の土俵作りができる。
- 2) 経営方針の策定によって、

- a. 自立型道の駅が目指せる。
 - b. 自主的従業員が育ってくる。
 - c. 地域とのかかわりを大切にするようになる。
 - d. 長期持続する道の駅が目指せる。
- 3) 経営方針を3ヵ年計画にまとめることによって、
- a. 3年後の道の駅の絵が描ける。
 - b. 3年後の到達目標が定まる。
 - c. 事業展開の具体案が固まる。
 - d. 働きがいのある道の駅が目指せる。
- ② 意見交換会の開催
- スタッフ全員による毎月1回の意見交換会をおこない、当月の反省と今後の予定の確認を行う。
- ③ スタッフの意識、能力の向上
- スタッフの意識、能力向上への徹底した取組を強化する。そのためにはモラルサーベイを行って従業員の意識を調査し、O j tやO f f j tによる教育訓練によってスタッフの意識と能力向上をめざす。
- ④ 経営指針の全スタッフへの徹底した浸透
- 作成された経営指針を全スタッフに配布し、定期的に経営指針の勉強会を開催し、経営指針の全スタッフへの徹底した浸透をはかる。
- ⑤ 多能工の養成
- 少数のスタッフで運営している道の駅が多いので、各スタッフの職務を固定するのではなく、多能工化を考え、複数の職務をこなせるような教育訓練を行う。

2 施設

道の駅の施設には、駐車場、トイレ、物販施設、飲食施設、情報提供施設、休憩室等々多くの施設があり、各道の駅によって相違はあるが問題のあるところも多く見受けられる。

(1) 具体的な問題点

- ① 駐車場が狭い。
- ② 繁忙時の駐車スペースが少ない。
- ③ 駐車場が少ない。（特に土・日・祝日は観光バスの駐車場が少ない）
- ④ トイレが狭い。
- ⑤ トイレの設備は貧弱で少々匂いが気になる。
- ⑥ 休憩室兼情報コーナーが物置になっている
- ⑦ 店舗が狭いので農産物の販売スペースが少ない。

- ⑧ 特売品販売所が狭い。
- ⑨ 農林産物加工直売所や郷土料理飲食コーナーのスペースが狭い。
- ⑩ 生産者が納品するスペースが取られていないので、来客と混同することが多い。
- ⑪ 情報発信コーナーが充実されていない。
- ⑫ 情報コーナーは国土交通省の管理になっているので、無駄なスペースが多い。
- ⑬ バリアフリーが完全でない。

(2)改善策の提言

① バリアフリーの完全化

特に高齢者、障害者に配慮した施設を設備する。具体的には段差の解消や物販施設内の通路幅の拡張を行う。

② こまめな清掃の徹底

特にトイレ、駐車場、販売施設、食事処の清掃を徹底的に行う。

③ 駐車場難解消方法の模索

例えば周辺駐車場との連携や周辺空地の繁忙期の賃貸契約を考える。

④ 国交省との交渉

情報発信コーナーは国土交通省の管理になっているが、あまり活用されていないので、余分なスペースを地域の特産物販売等の場所として使用できるよう、粘り強く交渉する。

⑤ 売れない商品の排除

販売施設に展示されている商品を、売れ筋商品と死に筋商品に区分して、できる限り死に筋商品を撤去して、販売施設の狭さを解消する。

⑥ 各施設の点検及びリフォーム(小修理)の実施

各施設で老朽化しているものが多く見受けられるので、各施設の点検を徹底し、問題のある個所は早いめにリフォーム(小修理)して、長期間使用できるように努める。

⑦ 情報発信コーナーの充実

極端な例では、情報発信コーナーが物置になっているケースもあるようにあまり活用されていないので、近隣の名所案内(割引券等があればよりベターである。)、近くの道の駅の案内、ロードマップ等の整備・設置をおこない「情報発信機能」を充実させる。

3 品揃え

一部の道の駅を除いて、物販(特に地場産品)に重点をおいているが、品揃えに問題点を抱えている道の駅が多い。品揃えの問題点としては、生産者であり納入者の高齢化、商品管理のまずさ、地域の商品比率の低さ等が挙げられている。

(1) 具体的な問題点

- ① 高齢化で地元の産物がそろえにくくなっている。
- ② 地元住民の高齢化が進み、産地の野菜の搬入が少なくなった。
- ③ 生産販売品、食材については地元産を使用することをコンセプトとしているが、生産者の高齢化が進み集配作業をしなければ商品が集まらず、その集配作業に労力を要する。
- ④ 商品の品質管理が統一できていない生産者がいる。
- ⑤ 15時ごろになると、野菜の品切れが見られる。
- ⑥ ありきたりのお土産が多い。
- ⑦ 地場産品の品揃えが少ない。
- ⑧ 地場の野菜等を販売していない。
- ⑨ 遠隔地での生産品が多い。

(2) 改善策の提言

- ① シルバー人材センター等に依頼して、元気な高齢者の活用
- ② 地元農業後継者の会の結成と支援
- ③ スタッフによる農産物加工品作りの継承
- ④ 他の道の駅と連携した商品開発及び品揃えの強化
- ⑤ 責任者を定めて棚管理の徹底
- ⑥ 商工会等との連携した品揃えの強化
- ⑦ 特産品等地域の特色をもった商品の品揃え
- ⑧ 民芸品等の積極的活用

4 食事処

調査した道の駅21カ所のうち食事処がない道の駅が4カ所ある。食事処のある道の駅でも多くの問題点がみられるので改善を要する。

(1) 具体的な問題点

- ① 食堂の閉店時刻が早い。
- ② 食事はセルフサービスにしては、値段が高い。
- ③ キジ井の値が他に比較して高い。
- ④ 食事の味付けが全般的に濃い感じである。
- ⑤ 軽食コーナーと展示販売所はテナントであり、メニューのアイテムが少ない。
- ⑥ 道の駅の同一施設内に個人経営の飲食施設があり、道の駅経営の食堂の客が少なくなっている。

(2)改善策の提言

- ① 来客の時間帯を調査して、営業時間を見直す。
- ② 食の安全、安心及び健康を考え、無添加、着色料未使用、保存料未使用の食事を提供するとともに、カロリーの表示を心がける。
- ③ 近くの道の駅や近隣の飲食店の価格を調査して、リーズナブルな価格に見直しを行う。
- ④ 当該道の駅内に個人経営の飲食施設が併存する場合は、相互の話し合いをし、棲み分けを考える。
- ⑤ 食事処がテナントの場合は、テナントとよく話し合い、当該道の駅の経営理念と合致した運営を依頼する。
- ⑥ 来店客にアンケート調査の実施を行い改善策を考える。

5 イベント

遠隔地からの来客や地域住民の来客頻度を増加させる手段として、イベントは欠かせない手段である。

(1)具体的な問題点

- ① イベントを実施していない道の駅が9駅（43％）ある。
- ② イベントを実施していても魅力に欠けるイベントが多い。
- ③ イベントを実施しているが、一過性のものであり、イベントを楽しみに来店する顧客の誘引力が弱いものがある。

(2)改善策の提言

- ① 地域を巻き込んだ各種イベントの積極的展開や他所にない特徴ある商品やメニューで集客力UP
- ② 地元生活者の趣味や得意な加工品等の発表会の開催
- ③ 地域の様々な隠れたものや場所や人の掘り起こし
- ④ 商品やメニュー開発に関する地域生活者の参加促進
- ⑤ 食関連イベントの積極的な参加
- ⑥ 地域生活者を巻き込んだ関係づくり
- ⑦ 継続するこまめなイベントでのリピーターづくり

6 道路

道路の問題については、高速道路の延伸やバイパス道路の設置で車両の通行量が減少した（または、今後減少する可能性がある）、和歌山県の奥地にあるので、降雪や土砂災害による来客の減少というような問題が発生している。

(1)具体的な問題点

- ① 高速道路の南進で自動車の通行量減少した。
- ② 高速道路が田辺まで開通したので、「金屋」から「しらま」を通って竜神温泉に行く観光客が減少した。
- ③ 今後、阪和道の南進で国道42号線の利用者が減少し、駅利用客も減少するのではないかが今後の課題である。
- ④ 2～3年後に新しい国道168号が完成するので、当駅の前の通行車両数は確実に減少する。
- ⑤ 熊野古道が世界遺産になって人の流れが変わった。
- ⑥ 国道168号沿いのため、少し多めの雨が降ると土砂災害で道路がストップする。
- ⑦ 奈良県が雪や凍結などの時は来客数が極端に少なくなる。
- ⑧ 国道42号線から奥地に入り込んでいるので、集客（特に閑散期）に難がある。
- ⑨ 山の中の道の駅のため交通量が少ない。
- ⑩ 大阪方面から入る車と、和歌山方面に出る車専用の信号機がないので危険である。
- ⑪ 集落から約3km離れているので、地元客の割合が少ない。

(2)改善策の提言

① 競合店との差別化

道の駅も小売店同様に立地産業ではあるが特徴を出し、不利な点の克服

② 将来の道路計画情報の入手と早期の来店客減少防止策の検討

③ メイン道路に案内看板の設置

但し、回り道をして来てもらえるような仕掛けが必要である。

④ 冬場の閑散期対策の実施

冬場のみならず、繁閑の差が激しい道の駅は閑散期に合わせた従業員の雇用を行い、繁忙期にはアルバイトを雇用する等の対策を実施する。

⑤ 信号機の設置

車両の出入りに危険性がある道の駅では信号機の設置を、担当官庁に要望する。このときは、ある程度の自己負担を行う覚悟も必要である。

資料

1 道の駅の責任者及び市町村の道の駅担当者宛てのアンケート用紙

_____様

道の駅振興対策実態調査のご協力お願い

拝啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴駅も、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設として日々ご活躍のことと拝察いたします。

社団法人中小企業診断協会和歌山県支部では、平成22年度の自主研究事業として、和歌山県の貴重な資源である「観光」と、一部を除いて人口の過疎化が進んでいる「地域の振興」の観点から、和歌山県に20箇所ある道の駅に焦点を当てて調査・研究をしてみたいと考えています。

調査・研究の目的は、和歌山県の道の駅それぞれの概要、長所（強み）、短所（弱み）、課題等を調査し、改善提案することを目的としています。

道の駅の代表者の方々には、大変お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、道の駅の機能の一層の促進に向けた資料づくりという趣旨をご理解いただき、是非調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成22年6月10日

〒640-8150

和歌山市十三番町52番地

社団法人中小企業診断協会

和歌山県支部、支部長・奥村 博志

TEL 073-428-7370

FAX 073-423-7737

次の質問にお答えください。

1. 貴駅の長所について記入してください。
2. 貴駅の短所について記入してください。
3. 貴駅の課題について記入してください。
4. 課題に対する改善策を考えていれば記入してください。
5. 従業員数について記入してください。

正社員		パート		その他		合 計	
男性	名	男性	名	男性	名	男性	名
女性	名	女性	名	女性	名	女性	名
計	名	計	名	計	名	計	名

6. 売上の傾向について該当するものに○印をつけてください。
ア. 増加傾向 イ. 横ばい ウ. 減少傾向
7. 売上構成について記入してください。
物販 (%) レストラン (%) その他 (%)
8. 年間来客数はどれくらいですか。
19年度 (万人) 20年度 (万人) 21年度 (万人)
9. 定期的に開催している行事（イベント）があれば記入してください。
10. 駅長またはその代行者が常駐していますか。
ア. 常駐している イ. 常駐していない

回答者 役職 _____

氏名 _____

ご協力ありがとうございました。

FAXでお返事いただきますようお願い申し上げます。

2 アンケート及び資料からの集計

(1) 駅長はだれか

市町村長	その他
12件 (57%)	9件 (43%)

(2) 管理団体はどこか

市町村	その他
8件 (38%)	13件 (62%)

(3) 駅長は常駐しているか

常駐している	常駐していない	代行物が常駐している
8件 (38%)	11件 (52%)	2件 (10%)

(4) 売上傾向はどうなっているか

増加傾向	横ばい	減少傾向
5件 (24%)	5件 (24%)	11件 (52%)

(5) イベントを実施しているか

実施している	実施していない
12件 (57%)	9件 (43%)

(6) 食事処はあるか。

有	無	隣接地にあり
17件 (81%)	3件 (14%)	1件 (5%)

おわりに

和歌山県支部では、平成21年度の調査・研究事業で、「和歌山県の観光の現状と今後の在り方」を報告書にまとめた。

その中で問題になったのは、公共交通機関の発展していない和歌山県を訪れる観光客は、自家用車、観光バス等の車の利用者が非常に多いが、観光客の多い県南部では車の休憩施設としてドライブイン等の整備が少なく、この対応策として公共施設である道の駅をより多く快適に利用してもらい、車で観光客に満足感を与え、リピーターとして、またロコミでの観光客増加を考えて、「和歌山県の道の駅の振興策について」調査・研究を実施した。

道の駅を徹底的に研究するために、各道の駅の登録年月日、設置者、駅長名、管理団体、所在地、路線名、開設時間、駅長の常駐、従業員数、売上傾向、売上構成、年間来客数、定期的に開催している行事、TEL、レストラン、土産物売店、駐車場、公衆電話、トイレ、障害者施設、その他施設、アクセス、当駅の概要、おすすめポイント、周辺観光施設、当駅の長所、当駅の問題点、改善策改善策と細部にわたって、資料調査、アンケート調査、ヒアリング調査により解明した。

その過程で、多くの問題点が抽出されたが、その問題点を各道の駅毎に改善策を提起するとともに、和歌山県の道の駅全体についての改善策も、マネージメント、施設、品揃え、食事処、イベント、道路にまとめて具体的な問題点と改善策の提言を行った。

今後道の駅はまだ増加すると思われる。和歌山県でもこの調査・研究のまとめを行った後に那智勝浦町に道の駅「なち」が11月3日にオープンし、古座川町に道の駅「瀧の拝太郎」が8月9日に登録されて現在建設中である。それを考えると今回の「和歌山県の道の駅の振興策について」調査・研究は時宜を得たものであると自負できると考える。

時間的・経費的な制約もあり、満足のいくものではないが、この調査・研究結果が今後の和歌山県の道の駅が「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」の3機能をますます発揮するとともに、ひいては観光客の誘引や地域の発展の一助になればと願うものである。

社団法人中小企業診断協会
和歌山県支部、調査・研究班